



Dell インタラクティブ
プロジェクタ S510/S510n
取扱説明書



メモ、注意、警告

 **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。

 **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。

 **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2015 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標 :Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴは、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル : Dell インタラクティブプロジェクタ S510/S510n

2015 年 2 月 Rev.A01

目次

1	Dell プロジェクタについて	5
	プロジェクトボックスの内容	5
	プロジェクトの上方図と底面図	7
2	プロジェクトのセットアップ	9
	プロジェクトのミラーのクリーニング	9
	プロジェクトのフォーカス調整	9
	画像サイズの調整	10
	画像形状の調整	11
	リモコンの使用方法	12
	プロジェクトの接続	17
3	プロジェクトの使用方法	31
	プロジェクトの電源を入れる	31
	プロジェクトの電源を切る	31
	メニュー設定	32
	対話型ペンの使用 (S510 の場合のみ)	51
	Intel® WiDi の使用	59
	Miracast の使用	68
	ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用	74
	USB ディスプレイ (DoUSB) の使用	91
	PC フリープレゼンテーションの使用	94
	オーディオ投影の使用	102
	Web ブラウザでプロジェクトを管理する	111
4	プロジェクトのトラブルシューティング	130
	ガイド信号	135
	ランプの交換	136
	よくある質問	138
	ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)	140
5	仕様	142
	RS232 ピン割り当て	146

6	Dell へのお問い合わせ	148
	Crestron へのお問い合わせ	149
7	付録：用語集	150

1

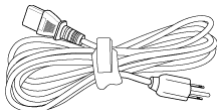
Dell プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell までご連絡ください。

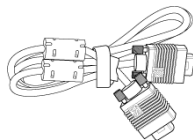
プロジェクタボックスの内容

S510 パッケージの内容

電源ケーブル



VGA ケーブル (VGA から VGA)



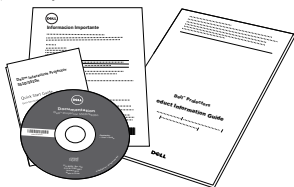
リモコン



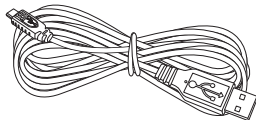
単 4 電池 (6)



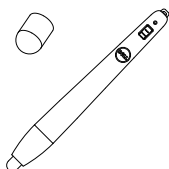
CD ユーザーガイドおよびドキュメント



ミニ USB ケーブル (USB-A から Mini USB-B)

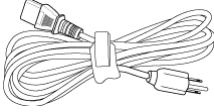


IR ペン (2 本) / ペン先キャップ (4 本) リストストラップ (2 本)

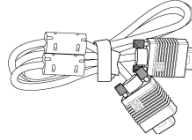


S510n パッケージの内容

電源ケーブル



VGA ケーブル (VGA から VGA)



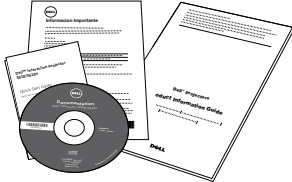
リモコン



単 4 電池 (6)

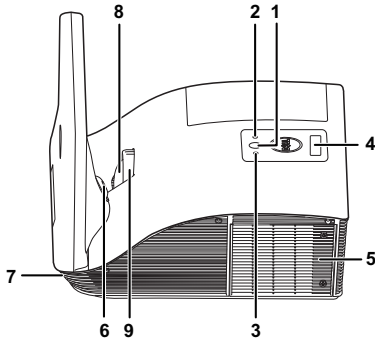


CD ユーザーガイドおよびドキュメント

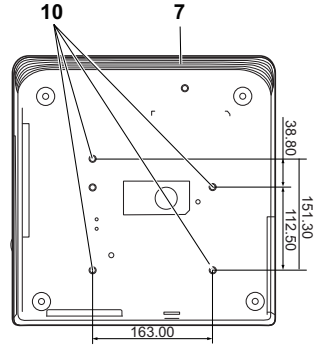


プロジェクタの上方図と底面図

上方図



底面図



1	電源ボタン
2	温度 LED
3	ランプ LED
4	IR レシーバ
5	ランプカバー
6	カメラ (S510 の場合のみ)
7	10 W スピーカー
8	レンズ
9	フォーカスリング
10	取付ホール (壁掛け用) ねじ穴 M4 x 8 mm 深度。推奨トルク <10 kgf-cm

注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。



メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛け (P/N:7XY53)。詳細については、Dell サポート Web サイト (dell.com/support) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- S510/S510n プロジェクタは室内専用です。

2

プロジェクタのセットアップ

プロジェクタのミラーのクリーニング

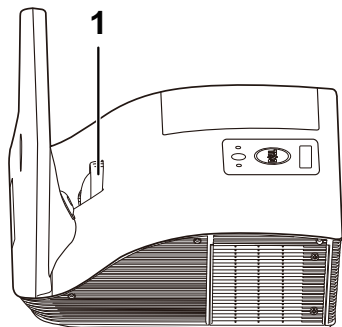
- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 送風機のパルプを使用してミラーのほこりを吹き飛ばすか、マイクロファイバー洗浄クロスを使用してミラーをそっと拭きます。ミラーの表面をごしごしこすらないでください。ミラーに傷が付く恐れがあります。

△ 注意：プロジェクタに直接クリーナーや溶剤をスプレーしないでください。

⚠ 警告：壁掛け式のプロジェクタをクリーニングすると、落ちて負傷する結果をもたらす原因となります。壁掛けブラケットからプロジェクタを取り外し、プロジェクタのミラーを洗浄することができます。

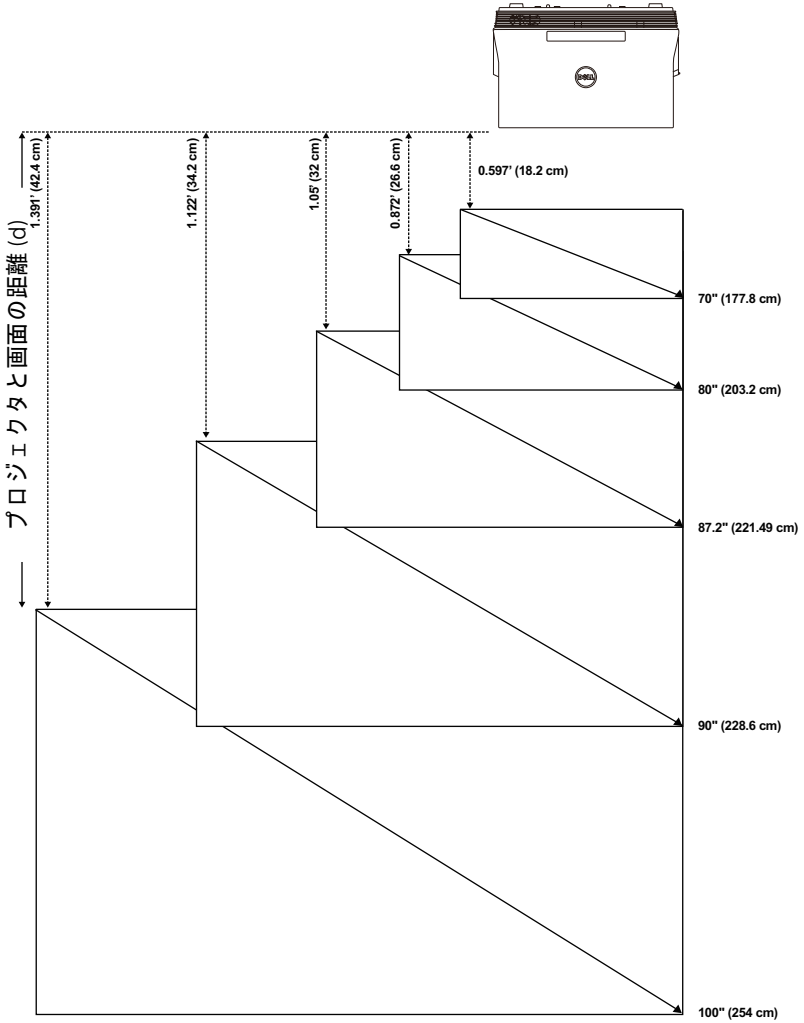
プロジェクタのフォーカス調整

- 1 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタの焦点距離は 0.517 m ~ 0.759 m ± 0.01 m (1.7 ft ~ 2.49ft) です。



1	フォーカスリング
---	----------

画像サイズの調整




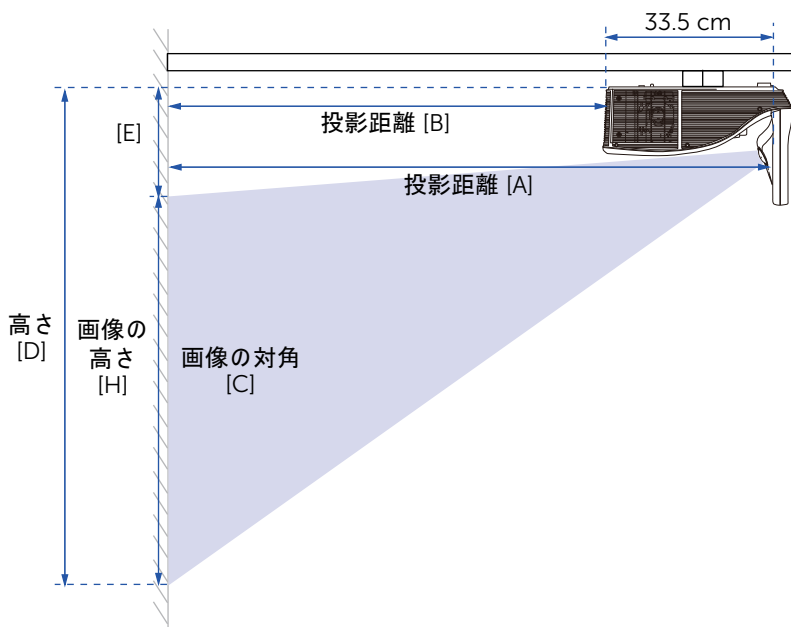
画像形状の調整

投影距離 (cm) [A]	投影距離 (cm) [B]	画像サイズ			プロジェクタの ベースから 画像の上部ま で (cm) [D]	プロジェクタの ベースから 画像の下部ま で (cm) [E]
		対角 (インチ /cm) [C]	幅 (cm)	高さ (cm) [H]		
51.7	18.2	70 インチ (177.8 cm)	148	92	120	28
60.1	26.6	80 インチ (203.2 cm)	172	107	139	32
65.5	32	87.2 インチ (221.4 cm)	187	117	151	34
67.7	34.2	90 インチ (228.6 cm)	193	121	156	35
75.9	42.4	100 インチ (254 cm)	217	136	175	39

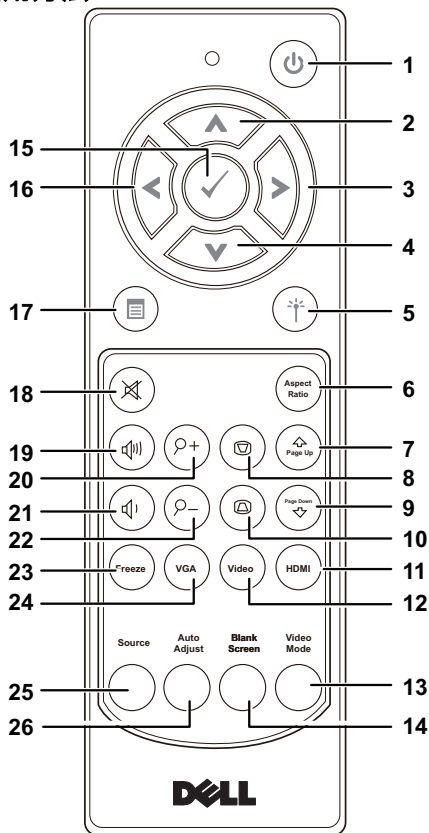
* この表はユーザーの参照用です。


* オフセット比 : 125±5%

 **メモ** : ミラーからプロジェクタ背面までの距離 : 33.5 cm




リモコンの使用方法



1 電源 












プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ31の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ31の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。











2 上 

このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。


3 右 

このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

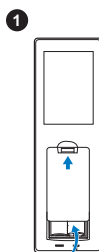
4	下 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。 △ 注意： レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。
6	縦横比 	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
7	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。  メモ： ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
8	キーストーン調整 + 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-15/+15 度)。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。  メモ： ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 - 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-15/+15 度)。
11	HDMI 	このボタンを押して HDMI ソースを選択します。
12	ビデオ 	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ (プレゼンテーションスライド) やビデオ (映画、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。 ビデオモードボタンを押して、プレゼンテーションモード、明るさモード、映画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。 ビデオモードボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度ビデオモードボタンを押すと、モードが切り替わります。

14	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	入力 	このボタンを押して選択を確定します。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
20	ズーム + 	このボタンを押して画像を上げます。
21	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
22	ズーム - 	このボタンを押して画像を下げます。
23	フリーズ 	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA 	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	押して、VGA-A、VGA-B、コンポジット、HDMI-A、HDMI-B、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、および内部メモリソース間を切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

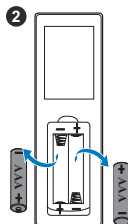
リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。


1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

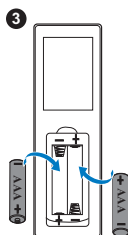


2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

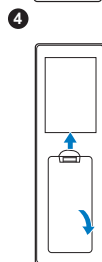


3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

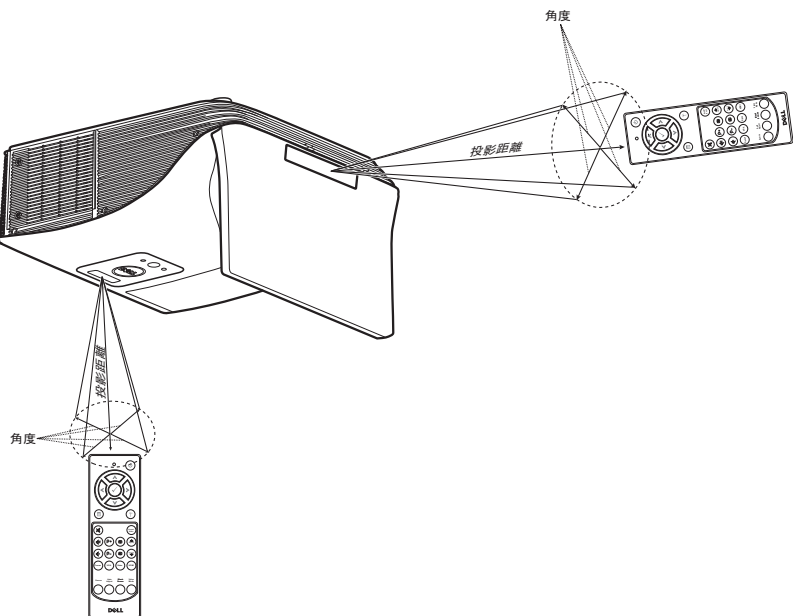


4 バッテリーカバーを元に戻します。



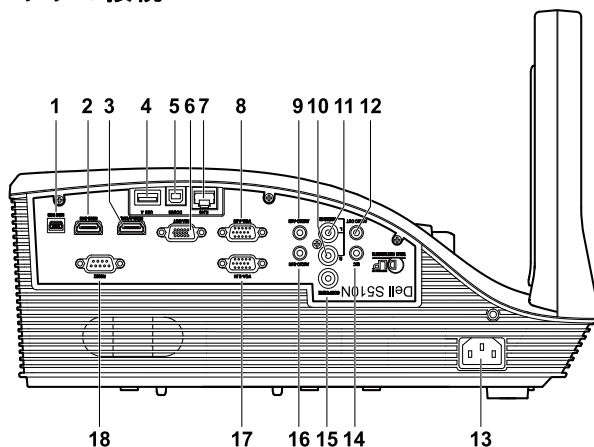
リモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±40°
投影距離	7 m



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。
バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作
できない原因となります。

プロジェクトアの接続



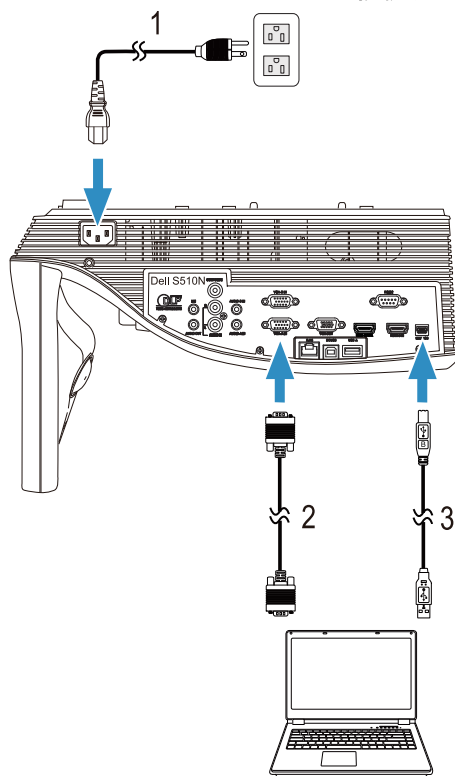
1	ミニ USB (ミニタイプ B) コネクター (リモコン用)、対話型ペン (S510 の場合のみ)、および、ファームウェアアップグレード	10	オーディオ右チャンネル入力コネクター
2	HDMI-B 入力コネクター	11	オーディオ左チャンネル入力コネクター
3	MHL 機能をサポートするための HDMI-A/MHL コネクター	12	オーディオ出力コネクター
4	USB ビューア用 UDB タイプ A コネクター	13	電源コードコネクター
5	USB ディスプレイ用 USB タイプ B コネクター (DoUSB)	14	マイクコネクター
6	VGA 出力 (モニターループスルー) コネクター	15	コンポジットビデオコネクター
7	RJ-45 コネクター	16	オーディオ -B 入力コネクター
8	VGA-A 入力 (D-sub) コネクター	17	VGA-B 入力 (D-sub) コネクター
9	オーディオ -A 入力コネクター	18	RS232C コネクター

△ 注意: この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 にある「安全上のご注意」をお読みください。

✍️ メモ: カメラ機能は S510 プロジェクタのみをサポートします。

コンピュータへの接続

VGA ビデオ用にコンピュータに接続する

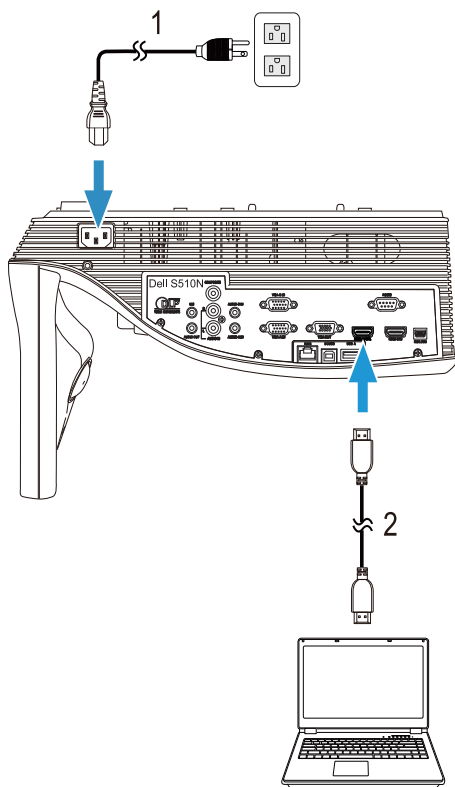


- 1 電源コード
- 2 VGA - VGA ケーブル
- 3 USB-A - ミニ USB-B ケーブル




メモ: リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

HDMI ビデオおよびオーディオ用にコンピュータに接続する

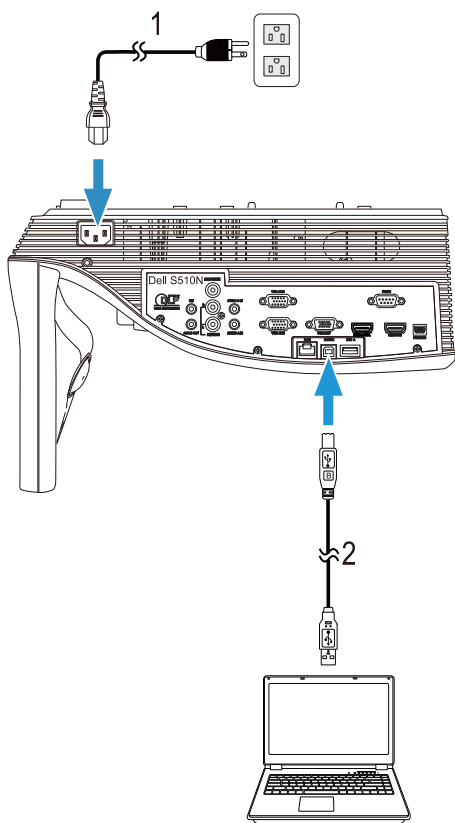


1 電源コード


2 HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

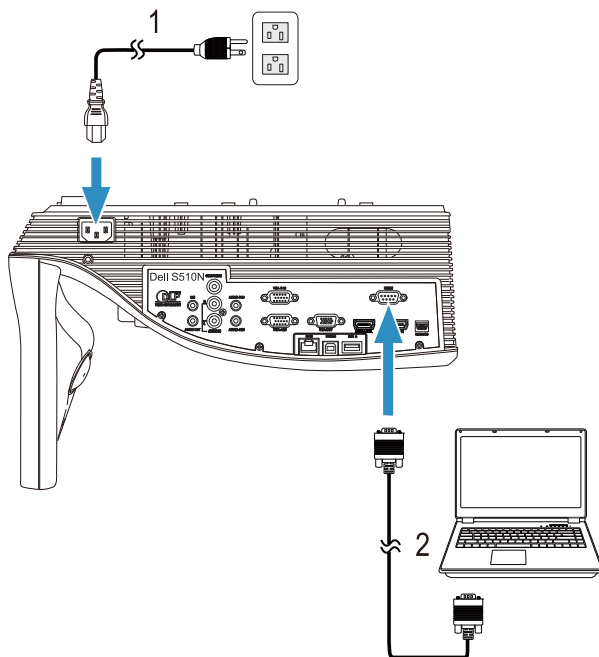
USB ビデオおよびオーディオ用にコンピュータに接続する



-
- | | |
|---|-------|
| 1 | 電源コード |
|---|-------|
-
- | | |
|---|--------------------|
| 2 | USB-A - USB-B ケーブル |
|---|--------------------|
-

 **メモ**：プラグアンドプレイ。プロジェクタには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

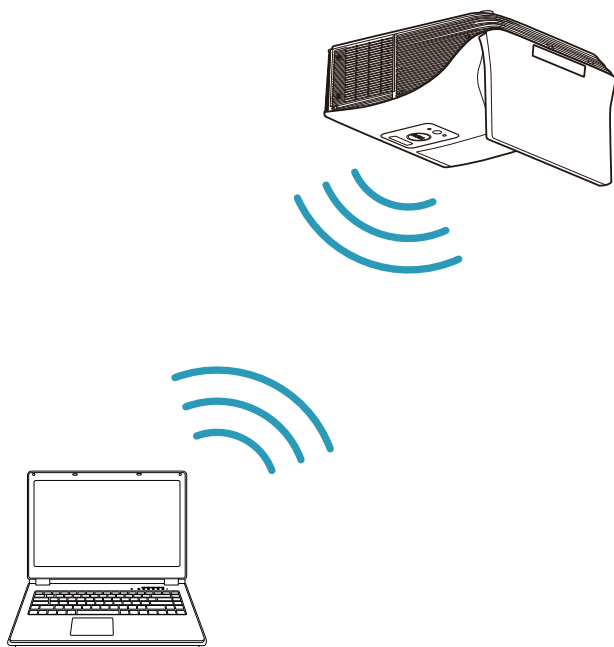
RS232 ビデオ用にコンピュータに接続する





- 1 電源コード
- 2 RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3スワップ) ケーブル

メモ：RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3スワップ) ケーブルは、プロジェクタに付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

Intel® WiDi またはワイヤレスディスプレイ (DoWiFi) 用にコンピュータに接続する

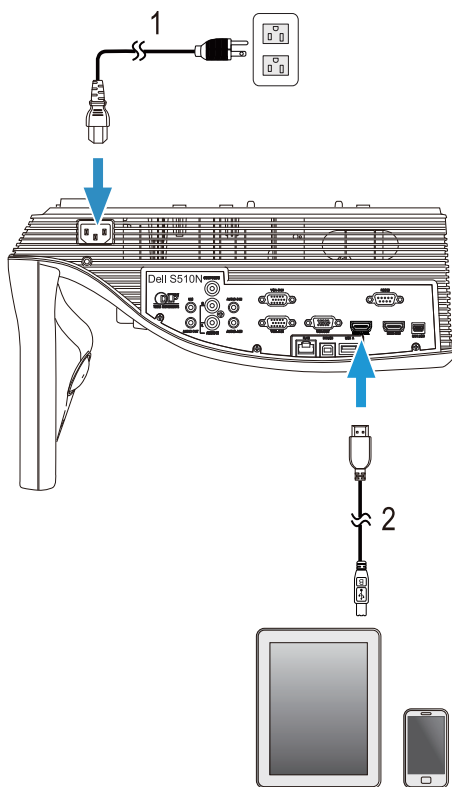


 **メモ:** 別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスアダプターを装備し、適宜設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。


 **メモ:** Intel® WiDi を介してコンピュータを接続するには、お使いのコンピュータが Intel® WiDi 互換である必要があります。

詳しくは、ページ 59 の「Intel® WiDi の使用」およびページ 74 の「ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用」を参照してください。

MHLビデオおよびオーディオ用にタブレットおよびスマートフォンに接続する



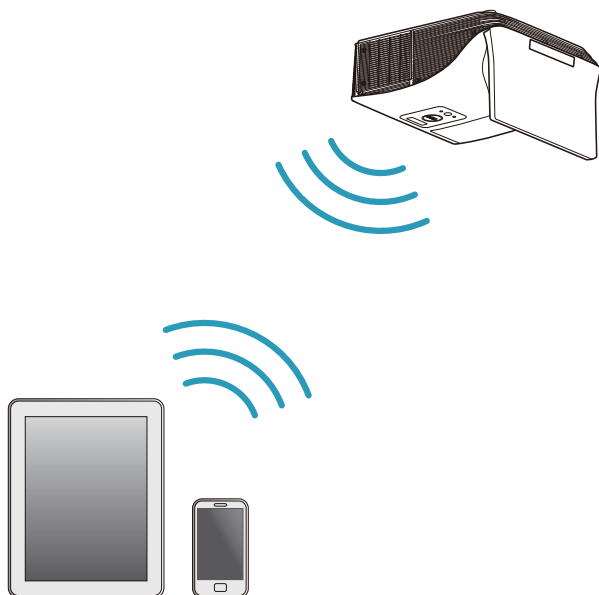
- 1 電源コード
- 2 MHL ケーブル

 **メモ**：MHL ケーブルはプロジェクターに付属していません。

 **メモ**：

- a ご使用のスマートフォンまたはタブレットが MHL 機能をサポートしていなければなりません。
- b 一部のスマートフォンまたはタブレットは、さらに MHL アダプターまたはアダプターケーブルを接続する必要があります。詳しくは販売店までご確認ください。

WiFi-Doc および MobiShow を用いてワイヤレスプレゼンテーション用にタブレットまたはスマートフォンに接続する



メモ : Dell S510/S510n は、Android デバイスおよび iOS デバイスからのワイヤレスプレゼンテーションをサポートします。MobiShow および WiFi-Doc (バンドルバージョン) モバイルアプリケーションを Google Play または App Store からダウンロードします。これらのアプリケーションを使用すると、Android デバイスまたは iOS デバイスから、サポートされるコンテンツをワイヤレスで伝送できます。お使いのモバイルデバイスにアプリケーションをインストールして起動した後で、Wi-Fi を有効化し、プロジェクトネットワーク (Dell S510 または S510n) に接続します。サポートされるファイルは次の通りです。

Mobi Show	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint	PtG2 (ppt から変換)*
WiFi-Doc	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint / Word /	ppt / pptx / doc / docx / xls /
	Excel / Text / PDF	xlsx / txt / pdf

MobiShow および WiFi-Doc の使用に関する情報については、Dell サポート サイト (dell.com/support) にアクセスして、Dell S510/S510n 用のマニュアルを参照してください。

* ppt を PtG2 形式に変換するには、PtG2 Converter を PC にインストールしてください。PtG2 Converter は dell.com/support からダウンロードできます。

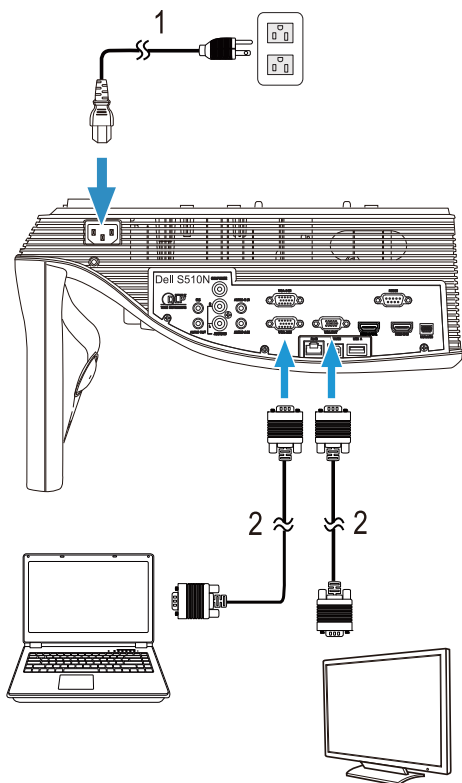
Miracast を用いてビデオおよびオーディオのワイヤレスストリーミング用にタブレットまたはスマートフォンに接続する



詳しくは、ページ 68 の「Miracast の使用」を参照してください。

ビデオソースに接続する

ループスルー VGA ビデオ用に外部モニタに接続する

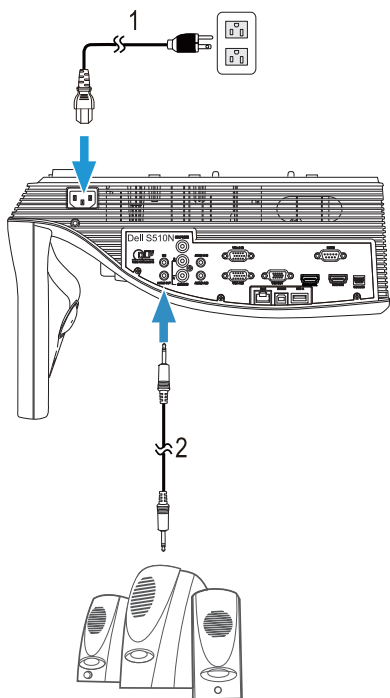


-
- | | |
|---|----------------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | VGA - VGA ケーブル |
-




メモ: プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

外部スピーカーに接続する

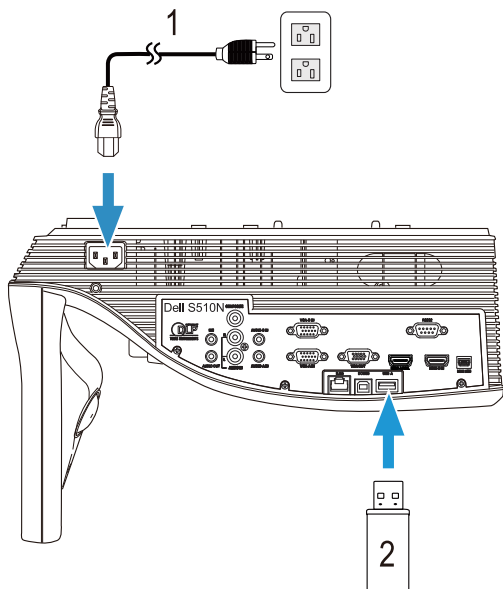


-
- | | |
|---|-----------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | オーディオケーブル |
-

 **メモ**：オーディオケーブルはプロジェクターに付属していません。

外部 USB デバイスに接続する

USB メモリストレージ



1 電源コード

2 USB フラッシュディスク

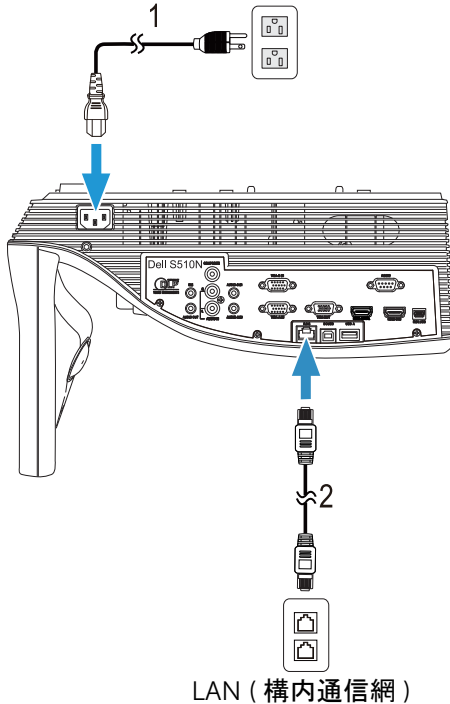
メモ：USB フラッシュディスクはプロジェクタに付属していません。

詳しくは、ページ 94 の「PC フリープレゼンテーションの使用」を参照してください。

LAN (構内通信網) への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続された 프로젝터를制御します。

ネットワーク設定を行う場合、ページ 116 の「ネットワークセットアップ」を参照してください。

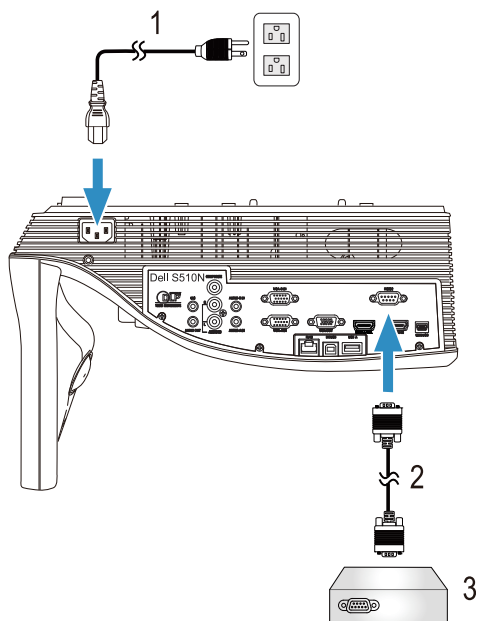


- 1 電源コード
- 2 RJ45 ケーブル



メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

商用 RS232 コントロールボックスに接続する



- 1 電源コード
- 2 RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブル
- 3 商用 RS232 コントロールボックス



メモ：RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブルは、プロジェクトに付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

3

プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる





メモ: プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、9 ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します(電源ボタンの位置については、12 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください)。
- 3 ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、9 ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。
- 5 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンの **Source** ボタンを押して、希望するソースを選択します。**Source** ボタンを確認するには、12 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。










プロジェクタの電源を切る



注意: プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

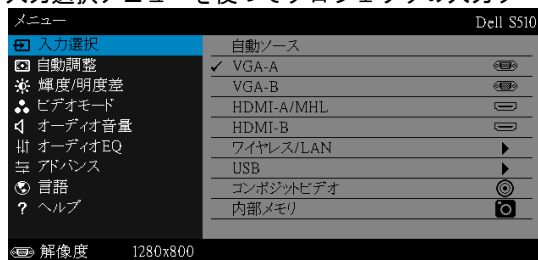
- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。
-  **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。
- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。
-  **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。
- 4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

メニュー設定

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- リモコンのメニューボタンを押して、メインメニューに移動します。
- メインメニューのタブの間を移動するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- リモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、リモコンの  ボタンを押します。
- OSD を終了するには、直接、リモコンのメニューボタンを押します。

入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。




VGA-A— を押して VGA-A 信号を検出します。

VGA-B— を押して VGA-B 信号を検出します。


HDMI-A/MHL— を押して HDMI-A/MHL 信号を検出します。


HDMI-B— を押して HDMI-B 信号を検出します。


ワイヤレス / LAN— を押して選択のワイヤレス / LAN メニューを起動します。




メモ: 「ワイヤレスと LAN」オプションをオンにすると、ワイヤレス / LAN を使用できるようになります。


USB— を押して入力選択の USB メニューを起動します。

 **メモ:** 「ワイヤレスと LAN」 オプションをオンにすると、USB を使用できるようになります。

コンポジットビデオ  を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

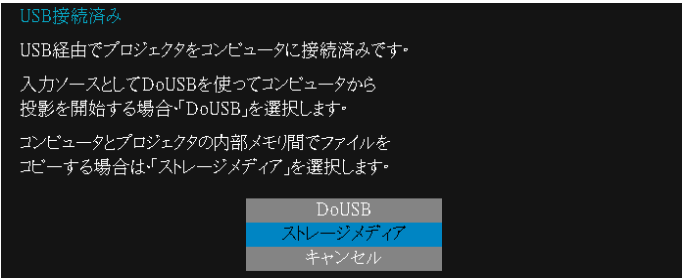
内部メモリ プロジェクタの内部メモリから写真、ビデオ、音楽、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

 **メモ:** 「ワイヤレスと LAN」 オプションをオンにすると、内部メモリを使用できるようになります。

 **メモ:**

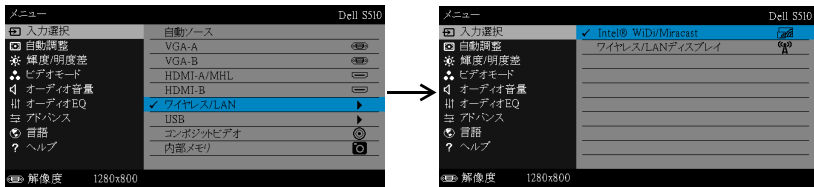
ストレージメディア — また、USB ケーブルを内部メモリソースに接続し、コンピュータからプロジェクタの内部メモリに対してコピー、削除、移動、およびその他の操作を実行することができます。


USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、「USB が接続されました」というメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** から選択することができます。



入力選択のワイヤレス /LAN

入力選択のワイヤレス /LAN メニューにより、Intel® WIDI/Miracast、ワイヤレス /LAN ディスプレイを有効にできます。



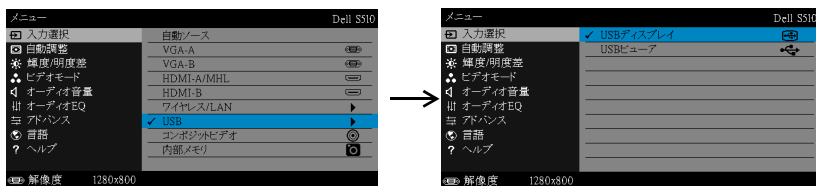
INTEL® WIDI/MIRACAST  を押してプロジェクタの Intel® WIDI または Miracast ガイド画面にアクセスします。

ワイヤレス /LAN ディスプレイ  を押してプロジェクタの無線または


LAN ガイド画面にアクセスします。75 ページの「ワイヤレス /LAN ガイド画面」を参照してください。

入力選択の USB

入力選択の USB メニューにより、USB ディスプレイ、USB ビューアを有効にできます。



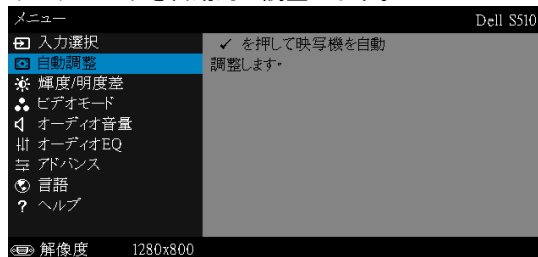
USB ディスプレイ—USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ / ノート PC スクリーンを表示します。

 **メモ** : DoUSB が表示されない場合は、130 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」を参照してください。

USB ビューア—USB フラッシュディスクから写真、ビデオ、音楽、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

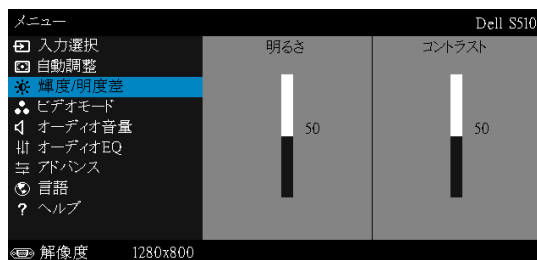
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。




輝度 / 明度差

輝度 / 明度差メニューにより、プロジェクタの輝度 / 明度差設定を調整できます。



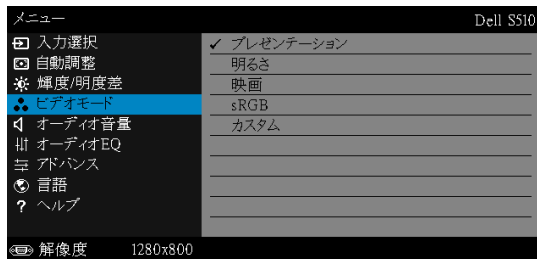
明るさ — や を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト — や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

 **メモ**：明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

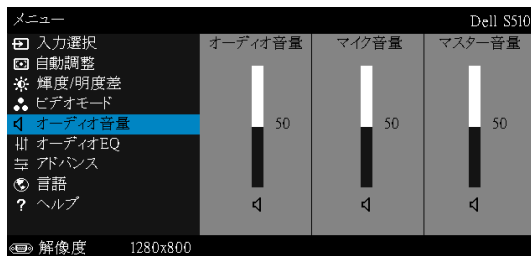
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、および**カスタム** (お好みの色を設定します)。



オーディオ音量

オーディオ音量メニューを使って、プロジェクトのオーディオ、マイク、マスターボリューム設定を調整します。



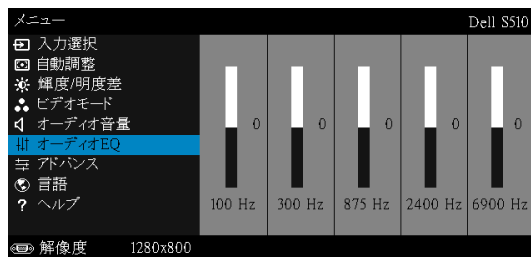
オーディオ音量 — を押してオーディオ音量を上げ、 を押してオーディオ音量を下げます。

マイク音量 — を押してマイク音量を上げ、 を押してマイク音量を下げます。

マスター音量 — を押してオーディオおよびマイク音量を上げ、 を押してオーディオおよびマイク音量を下げます。

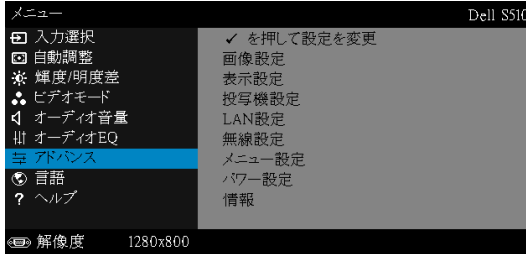
オーディオ EQ

オーディオイコライザーメニューを使って、オーディオを調整したり、信号の異なる周波数レベルを増幅または減少（減衰）させることができます。

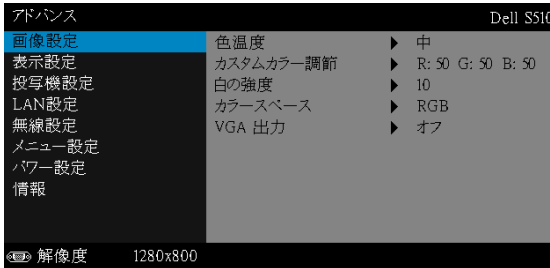


アドバンス

詳細設定メニューは**画像、表示、投写機、LAN、無線、メニュー、パワー、および情報**の設定を変更します。



画像設定 (PC モード) - を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



色温度 - 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 - 赤、緑、青の色を手動で調整します。

白の強度 - を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース - 色空間を選択します。オプション: RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

VGA 出力 - オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。



メモ: 色温度、カスタムカラー調節および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定 (ビデオモード) を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell S510
画像設定	色温度	▶ 中
表示設定	カスタムカラー調節	▶ R: 50 G: 50 B: 50
投写機設定	彩度	▶ 50
LAN設定	鮮明度	▶ 50
無線設定	色合い	▶ 50
メニュー設定	白の強度	▶ 10
パワー設定	カラースペース	▶ RGB
情報	VGA 出力	▶ オフ

解像度 1280x800

色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度 — ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。 を押して画像の色の量を増やし、 を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度 — を押して鮮明度を上げ、 を押して鮮明度を下げます。

色合い — を押して画像の緑の量を増やし、 を押して画像の緑の量を減らします。

白の強度 — を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース — 色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

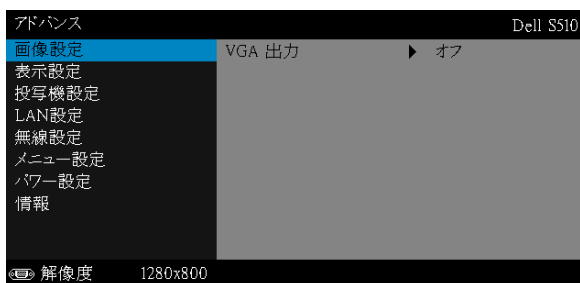
VGA 出力 — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。



メモ：

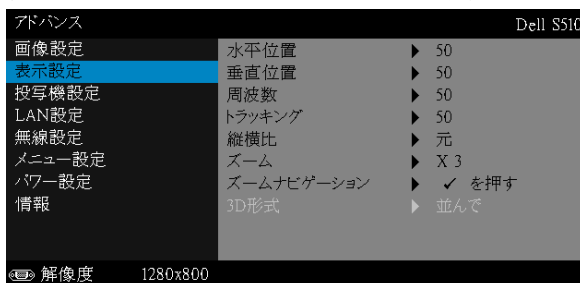
- 1 **色温度、カスタムカラー調節、彩度、鮮明度、色合いおよび白の強度** の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 **彩度、鮮明度と色合い** は、入力ソースがコンポジットから出ている場合のみ使用可能です。

画像設定（入力ソースなし）—を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



VGA 出力—オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

表示設定 (PC モードで)—を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



水平位置—を押して画像を右へ移動し、を押して画像を左へ移動します。

垂直位置—を押して画像を上へ移動し、を押して画像を下へ移動します。

周波数—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング—ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

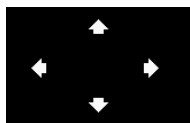
縦横比—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。

- 元 – 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム – とを押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、
 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション – を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

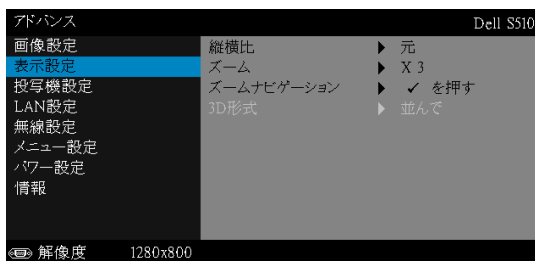
3D 形式 – 3D フォーマットを選択します。オプション：並んで、並んでフル、トップ/ボトム、とトップ/ボトムフル。

3D 同期反転 – DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

メモ：

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - 3D コンテンツ。「注2」を参照してください。
 - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
 - 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
 - 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

表示設定 (ビデオモード) を選択して押し、表示設定を起動します。
表示設定メニューには次のオプションがあります。



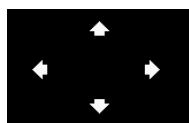
縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：
元、16:10 および 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、
 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション — を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

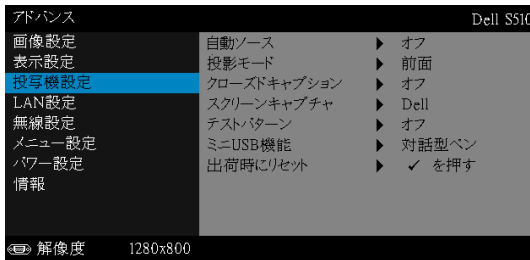
3D 形式 — 3D フォーマットを選択します。オプション：並んで、並んでフル、トップ/ボトム、とトップ/ボトムフル。

3D 同期反転 — DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

メモ：

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - 3D コンテンツ。「注2」を参照してください。
 - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
 - 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
 - 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

投写機設定 を選択して押して、プロジェクタ設定を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。




自動ソース — オフ (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。自動ソースモードをオフに設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。オンを選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で Source ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

投影モード — プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

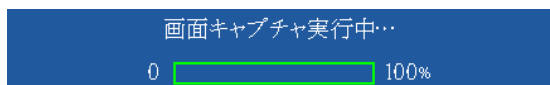
- リアプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント) — プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過スクリーンの裏面から投影できます (正規の投影)。
- フロントプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント) — 壁掛けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。


クローズドキャプション オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4 を選択します。

 **メモ：**

- 1 クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。
- 2 クローズドキャプションは、コンポジットビデオ入力を通じてのみ有効にすることができます。

スクリーンキャプチャーデフォルトは壁紙としての Dell ロゴです。スクリーンキャプチャオプションを選択してスクリーンディスプレイをキャプチャすることもできます。次のメッセージがスクリーンに表示されます。

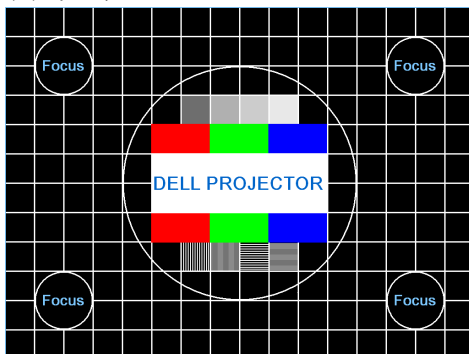


 **メモ：**フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1280 x 800 解像度であることを確認します。

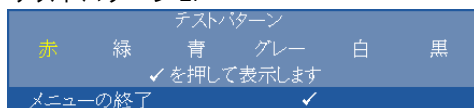
テストパターン テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1、または 2 を選択してテストパターンの有効 / 無効を切り替えることができます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:



ミニ USB 機能—対話型ペンまたはリモート Pg Ctrl を選択します。



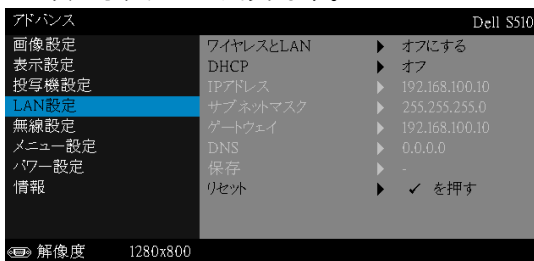
メモ：ミニ USB 機能は、S510 プロジェクタのみをサポートします。

出荷時にリセット—確認を選択して を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます。

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

LAN 設定— を選択して押して、LAN 設定を起動します。LAN 設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレスと LAN—有効を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が起動します。オフにするを選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が無効になります。

DHCP—プロジェクタが接続されるネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。 と を使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、 と を使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクタに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

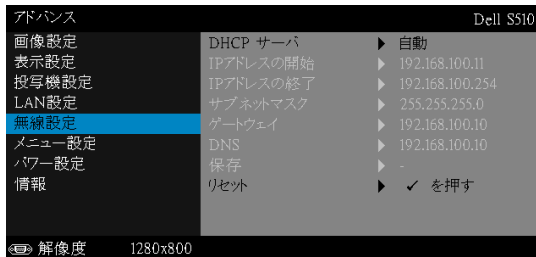
保存— を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

メモ:

- 1 と ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- 2 ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - a と ボタンを使ってオプションを選択します。
 - b と ボタンを使って値を設定します。
 - c セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し ボタンを押して設定を保存します。
- 4 入力ボタンを押さずに **保存** を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット — を押して、ネットワーク設定をリセットします。

無線設定 — を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



DHCP サーバ—ワイヤレスの DHCP サーバを有効にすることができます。

IP アドレスの開始—DHCP サーバの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。










IP アドレスの終了—DHCP サーバの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。


サブネットマスク—ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。**ゲートウェイ**—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。


DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバ IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

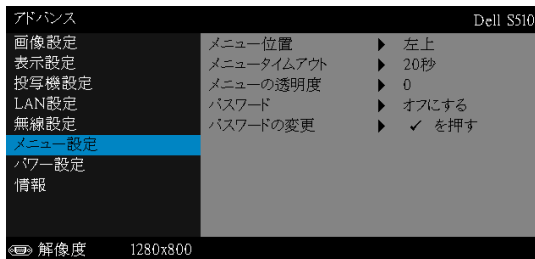
保存 — を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

メモ：

- 1  と  ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- 2  ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。（選択したオプションは青色でハイライトされます）
 - a  と  ボタンを使ってオプションを選択します。
 - b  と  ボタンを使って値を設定します。
 - c セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し  ボタンを押して設定を保存します。
- 4 入力ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット —  を押して、ワイヤレス設定をリセットします。

メニュー設定 —  を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。




メニュー位置 — OSD メニューの画面上の位置を変更します。

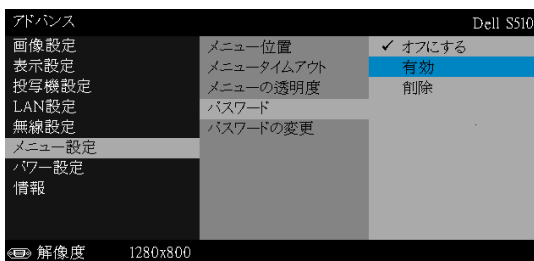
メニュータイムアウト — OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。


メニューの透明度 — OSD 背景の透明度レベルを変更します。

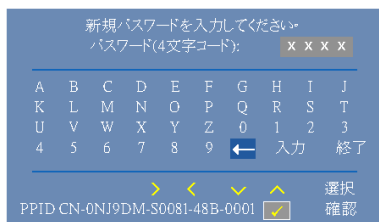
パスワード — パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。


1 初回パスワード入力の要請。

- a **メニュー設定**に移動し、を押したらパスワードを選択しパスワード設定を有効化します。



- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。
- ## 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクトは自動的にオフになります。
-  **メモ**：パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- ## 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする** オプションを選択して機能を閉じます。
- ## 4 パスワードを削除するには、**削除** オプションを選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択確認

新規パスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択確認

新しいパスワードを再入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	


PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択確認

パワー設定 を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell S510
画像設定	クイックシャットダウン	▶ オフ
表示設定	省電力	▶ 20 分
投写機設定	スタンバイ中	▶ ワイヤレスオフ
LAN設定	ランプモード	▶ ノーマル
無線設定	ランプリセット	▶ <input checked="" type="checkbox"/> を押す
メニュー設定		
パワー設定		
情報		

解像度 1280x800

クイックシャットダウン オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクトの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクトの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクトの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約 30 秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

省電力 デフォルトで、プロジェクトは 20 分間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクトが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクトはオフになります。プロジェクトの電源を入れるには電源ボタンを押します。

スタンバイ中 プロジェクトがスタンバイ状態のときに（デフォルトはワイヤレスオフ）、ワイヤレスオンまたはオフを選択して、ワイヤレス / LAN モデルをオン / オフに設定します。

ランプモード ノーマル、エコ、動的、または極端な減光モードを選択できます。

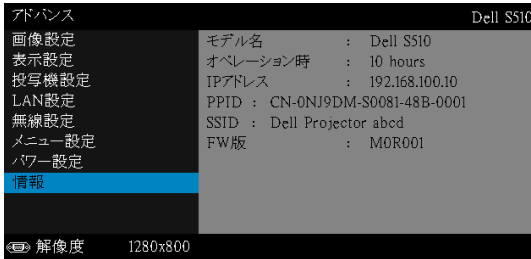
ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

動的 を選択して押して、ダイナミック機能を有効にします。

極端な減光 を選択して押して、エクストリーム調光を有効にします。

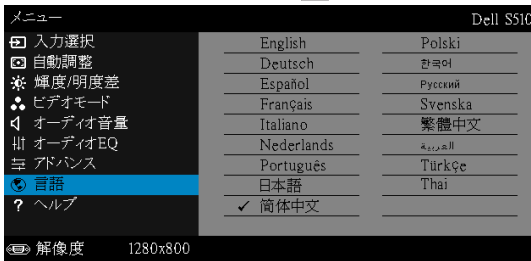
ランプ時リセット を押して確認オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

情報 情報メニューには、現在の S510 または S510n プロジェクタ設定が表示されます。



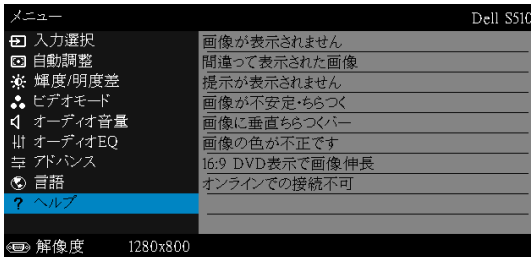
言語

OSD 用の言語を設定します。を押して言語メニューを起動します。



ヘルプ

プロジェクタに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



対話型ペンの使用 (S510 の場合のみ)

システム要件



メモ：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Windows XP Professional service pack 3 32 ビット、
Windows 7 32 ビット /64 ビット、Windows 8 32 ビット /
64 ビット、および Windows 8.1 32 ビット /64 ビット
Windows .NET Framework 4.0 のインストールが必要です
(Microsoft のサイトからダウンロードできます)

- Mac

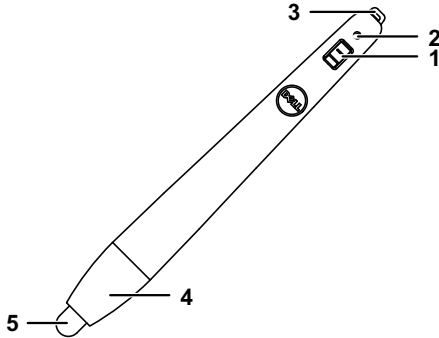
MacOS 10.6 およびそれ以上

最低ハードウェア：

- a Windows プロセッサタイプ :Intel Core i3 またはそれ以上
- b Mac プロセッサタイプ :Intel Core i2 duo またはそれ以上
- c Windows/Mac RAM:2 GB の RAM が必須 (2GB 以上を推奨)
- d Windows/Mac 最小 HDD 容量 :110 MB の空きハードディスク容量

対話型ペンについて (S510 の場合のみ)

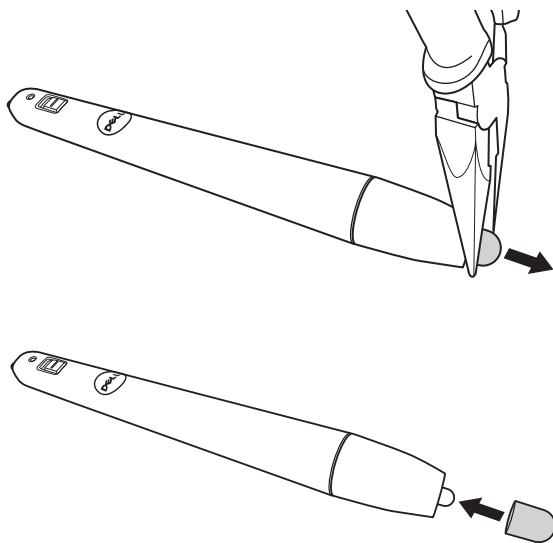
対話型ペンをマウスと同じように使用すれば、投影された画面からのコンピュータのナビゲートや選択、および相互操作が可能です。




1	電源スイッチ
2	パワーインジケータ ペンの電源を入れると、パワーインジケータが数秒間点滅してから消灯します。 緑：通常動作 赤：バッテリー残量低下 消灯：バッテリー切れ
3	リストストラップホルダ
4	バッテリーへのアクセス。回して開き、バッテリーを交換します。
5	ペン先

対話型ペンのペン先の交換 (S510 の場合のみ)

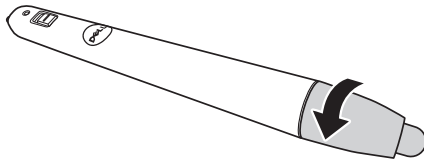
- **メモ:** ペン先が損傷した場合または機能しなくなった場合、交換する必要があります。



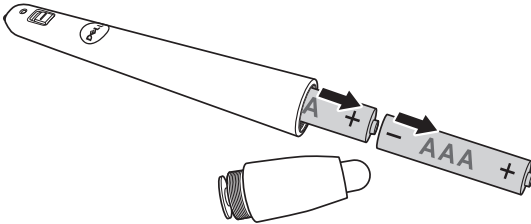
対話型ペンのバッテリーの交換 (S510 の場合のみ)

 **メモ**：バッテリー残量が低下すると、ペンの電源を入れたときに LED インジケーターが赤く点滅し始めます。新しい単 4 電池 2 本と交換してください。

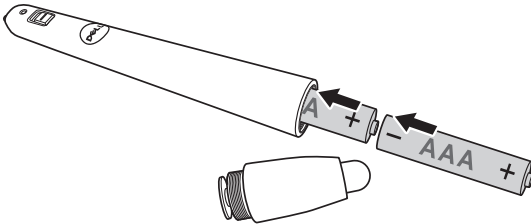
1 バッテリー部はペンの先端を回して開きます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

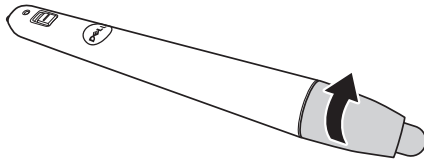


3 極性が合うよう、ペン先端のマークに従ってバッテリーを挿入します。



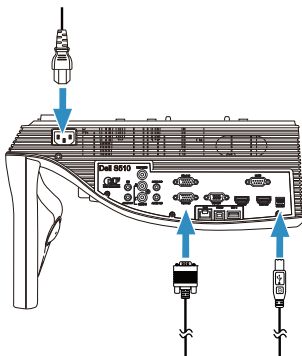
 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 ペン先端を元に戻し、バッテリー部が完全に閉じるまで回します。

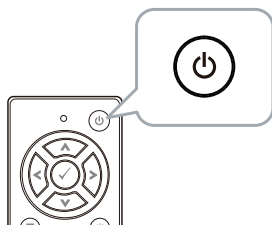


Windows での対話型ペンの使用

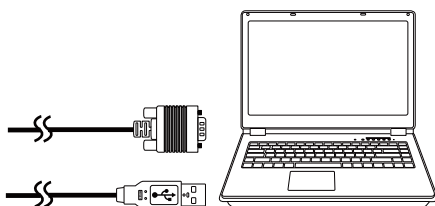
- 1 プロジェクターに電源ケーブル、VGA ケーブル、ミニ USB ケーブルを接続します。



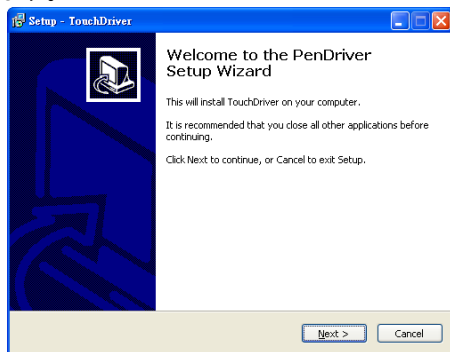
- 2 リモコンの電源ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れます。




- 3 コンピューターに VGA ケーブルとミニ USB ケーブルを接続します。



- 4 コンピューターに USB ケーブルを接続すると、PenDriver インストールのメッセージが自動的に表示されます。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



ドライバーのインストールが成功すると、ドライバーアイコン  がコンピューターの通知領域に表示されます。ペンのドライバーが自動的にインストールされない場合は、マイコンピューターに移動し、「PenDriver.exe」を実行します。




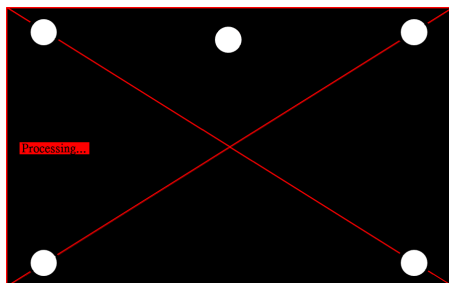
メモ：ドライバーをインストールするために、管理者レベルのアクセス権が必要な場合があります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。

Mac での対話型ペンの使用

- 5 **ステップ 1 ~ 3** を繰り返し、プロジェクターの電源を入れ、VGA ケーブルと USB ケーブルを接続します。
- 6 コンピューター内で PenDriver の CD-ROM を検索します。
- 7 Mac フォルダーから PenDriver.zip ファイルをダブルクリックします。
- 8 ダウンロードフォルダーで PenDriver.app を実行します。
- 9 コントロール機能の初期化を実行して IR ペンの使用を開始するため、**ステップ 5 ~ 7** を参照します。

ペンの校正

- 10 ペンのドライバー  アイコンをクリックし、ペンの校正を選択し、サブメニュー上で自動を選択します。




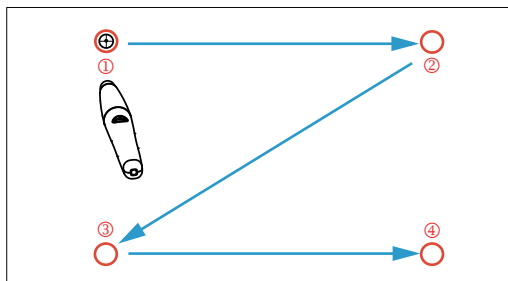
「自動校正失敗」のメッセージが表示される場合、トラブルシューティングのための以下のステップを実行してから、自動校正を再度実行してください。

- a ライトを切るかホワイトボードに対する迷光を減らします
- b プロジェクターの前を歩いたりプロジェクターを移動させないでください
- c 焦点を調節して投影画像を明瞭にします

「自動校正失敗中」のメッセージがスクリーンに表示される場合、手動校正に切り替えてください。

手動校正：

ペンのドライバー  アイコンをクリックし、ペンの校正を選択し、サブメニュー上で自動校正失敗中を選択します。



スクリーン上でターゲットのマークにタッチします。("ESC" キーを押して校正プロセスを終了します)。4点目の校正が終了してから、校正データが保存される間2秒間待ちます。

- 11 IR ペンの電源スイッチをオンにします。
- 12 IR ペンでスクリーンを指し、IR ペンの使用を開始します。

Intel® WiDi の使用

システム要件



メモ：お使いのコンピュータが、以下の Intel® ワイヤレスディスプレイのシステム要件を満たしている必要があります。

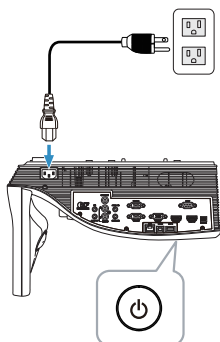
システムコンポーネント	要件
プロセッサ	以下のいずれかのプロセッサが必要となります。 第二世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルプロセッサ 第三世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルおよびデスクトッププロセッサ 第四世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルおよびデスクトッププロセッサ Intel® Pentium® N3510 プロセッサ Intel® Celeron® N2805 プロセッサ Intel® Celeron® N2810 プロセッサ Intel® Celeron® N2910 プロセッサ Intel® Atom® Z3740 プロセッサ Intel® Atom® Z3740D プロセッサ Intel® Atom® Z3770 プロセッサ Intel® Atom® Z3770D プロセッサ

グラフィック	<p>以下のいずれかのグラフィックソリューションが必要です。</p> <p>Intel® Iris™ グラフィック 5200 Intel® Iris™ グラフィック 5100 Intel® HD グラフィック 5000 Intel® HD グラフィック 4600 Intel® HD グラフィック 4400 Intel® HD グラフィック 4200 Intel® HD グラフィック 4000 Intel® HD グラフィック 3000 (モバイル) Intel® HD グラフィック 2500 Intel® HD グラフィック 2000 (モバイル)</p>
ワイヤレス	<p>以下のいずれかのワイヤレスアダプターが必要です。</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N 1000、1030、2200、 または 2230 Intel® Centrino® Wireless-N 2200 (デスクトップ 用) Intel® Centrino® Advanced-N 6200、6205、 6230、または 6235 Intel® Centrino® Advanced-N 6205 (デスクトップ 用) Intel® Centrino® Wireless-N + WiMAX 6150 Intel® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250 Intel® Centrino® Ultimate-N 6300 Intel® Dual Band Wireless-N 7260 Intel® Dual Band Wireless-AC 7260 Intel® Dual Band Wireless-AC 7260(デスクトップ 用) Intel® Dual Band Wireless-AC 3160 Intel® Wireless-N 7260 Broadcom BCM43228 Broadcom BCM43241 Broadcom BCM4352</p>

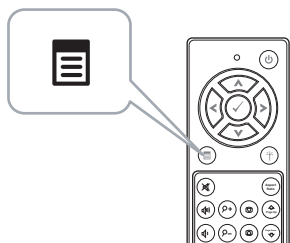
ソフトウェア	Intel® マイ Wi-Fi テクノロジ (Intel® MWT) および Intel® ワイヤレスディスプレイを事前にインストールし、有効化しておく必要があります。
オペレーティングシステム	以下のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。 Microsoft Windows 7 Microsoft Windows 8 Microsoft Windows 8.1

プロジェクター上で Intel® WiDi を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

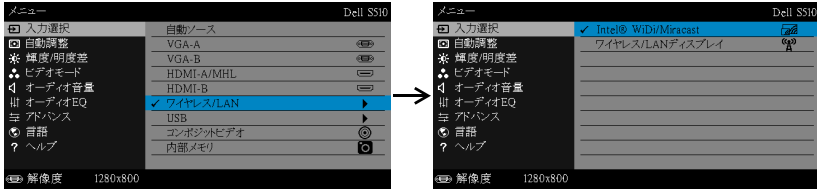


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

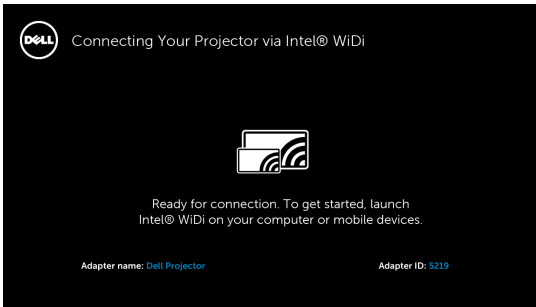


メモ： ◀、▼、◀、▶ ボタンを使用して ◻ をナビゲートし選択します。

3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス/LAN を選択し、サブメニューで Intel® WiDi/Miracast を引き続き選択します。



Intel® WiDi ガイドスクリーンが、次のように表示されます。



4 アダプタ名および PIN コードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

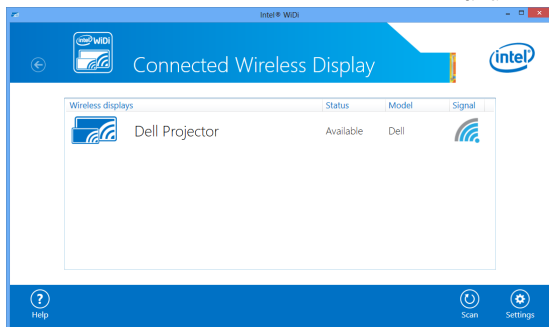
Intel® WiDi を Microsoft Windows 7 および Windows 8 で使用する



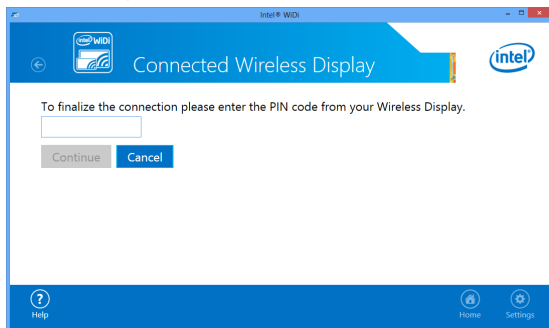
メモ: 最高のエクスペリエンスのため、
<http://www.intel.com/go/wirelessdisplayupdate> から最新の Intel® WiDi ソフトウェアを取得します。

- 1 Windows 検索バーに WiDi と入力します。ご使用のコンピューターに Intel® WiDi が内蔵されている場合、検索結果に「Intel® WiDi」アプリケーションが表示されます。

- 2 ご使用のコンピューターを Dell プロジェクターに接続します。



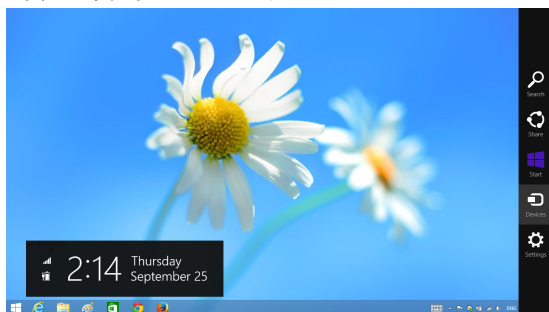
- 3 ペアリング確認のため、「プロジェクターで Intel® WiDi を有効にする」のステップ 4 で提供されたセキュリティコードを入力します。



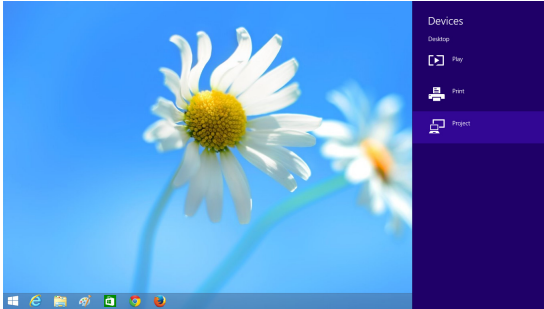
Intel® WiDi を Microsoft Windows 8.1 で使用する

 **メモ** : Windows 8.1 では Intel® WiDi 機能とはアクセス方法が異なり、Intel® WiDi ソフトウェアは必要ありません。

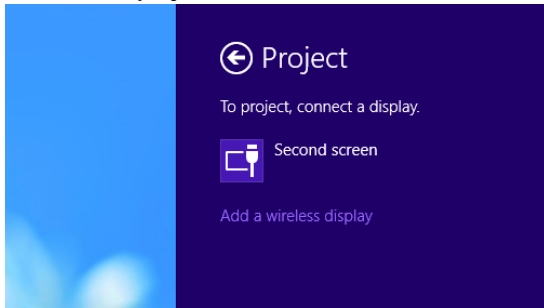
- 1 Devices (デバイス) チャームを表示させます。



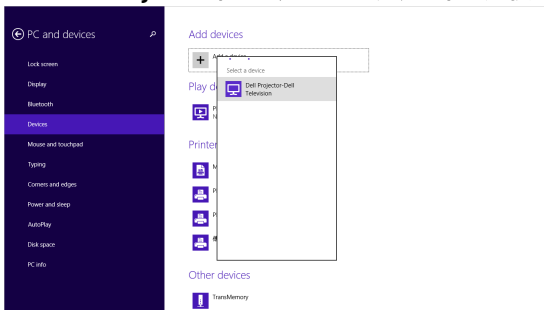
2 「Project (表示)」を選択します。



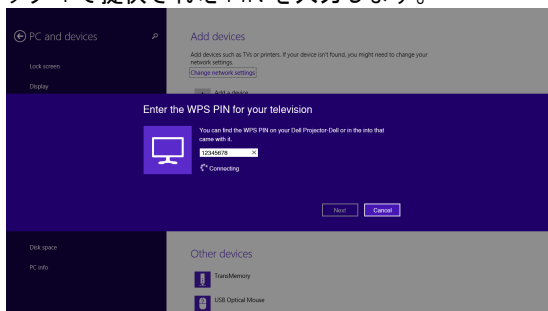
3 「Add a wireless display (ワイヤレス表示を追加)」を選択します。



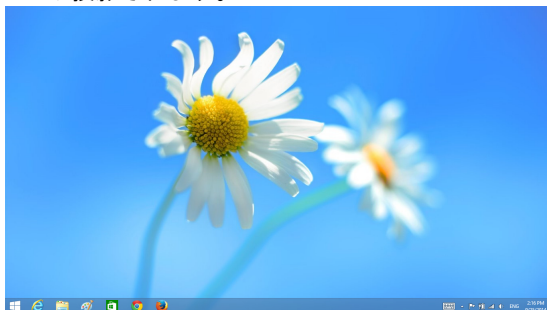
4 検知された Dell Projector (Dell プロジェクター) を選択します。



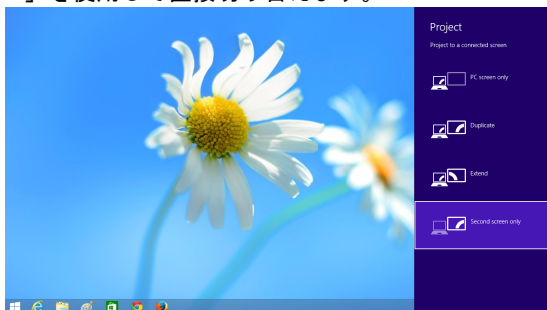
- 5 ペアリング確認のため、「プロジェクターで Intel® WiDi を有効にする」のステップ 4 で提供された PIN を入力します。



- 6 スクリーンが投影されます。

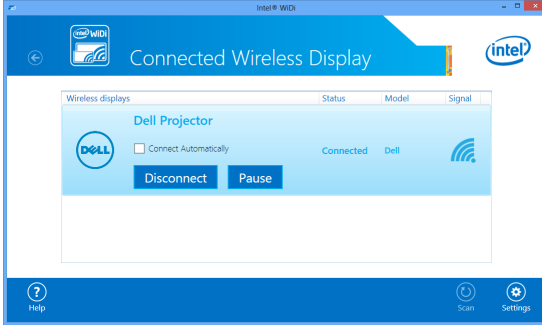


- 7 投影モードを調整または切断するには、Devices (デバイス) チャームを表示し、「Project (表示)」を選択します。または、ショートカット「Win + P」を使用して直接切り替えます。

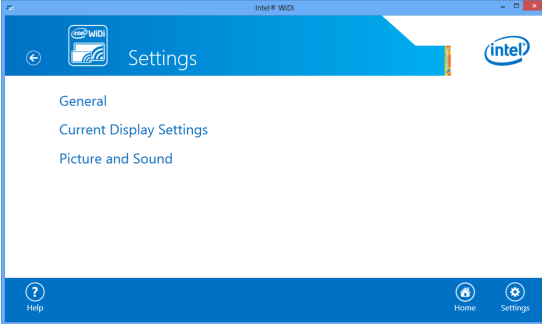


Intel® WiDi アダプターの名前変更

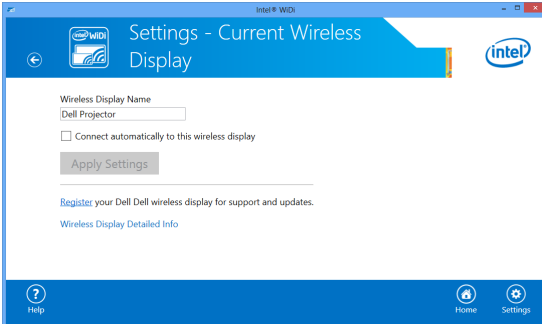
- 1 「Settings (設定)」を選択します。



- 2 「Current Display Settings (現在の表示設定)」を選択します。



- 3 アダプターに対して説明的な新名称を入力します。



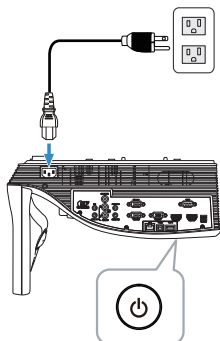
Intel® WiDi のサポート

最新の情報は、Intel® WiDi Web サイト www.intel.com/go/widi をご参照ください

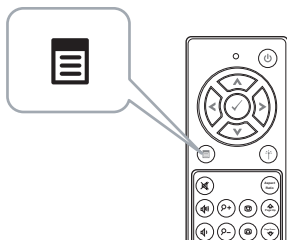
Miracast の使用

Miracast をプロジェクタで有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

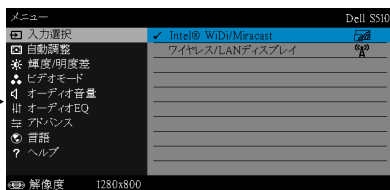
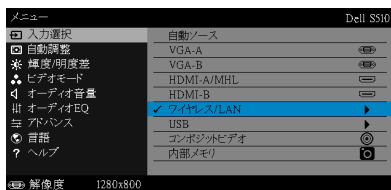


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

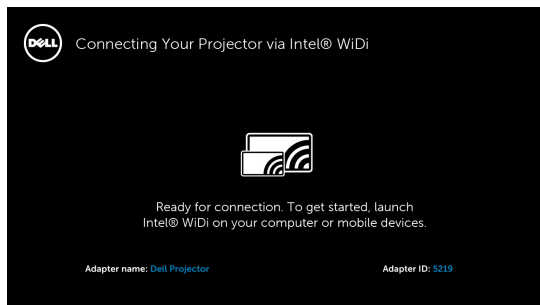


メモ：◀、▼、◀、▶ ボタンを使用して ◻ をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス / LAN を選択し、サブメニューで Intel® WIDI/Miracast を引き続き選択します。



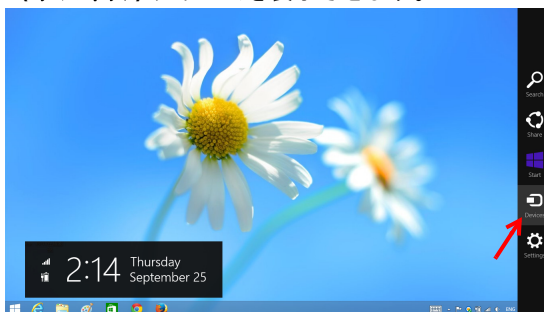
画面ガイドが次のように表示されます。



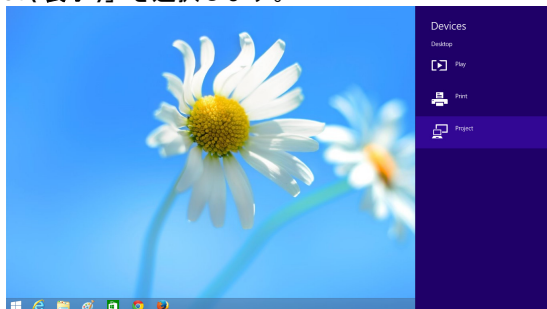
- 4 アダプタ名および PIN コードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

Windows 8.1 での Miracast の使用

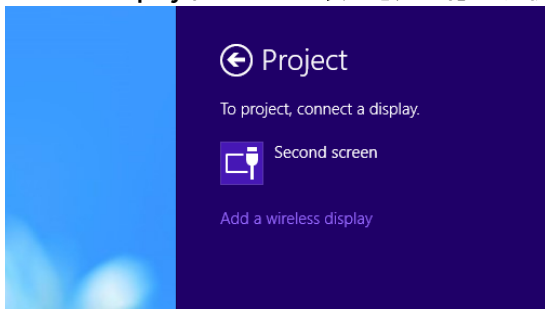
- 5 Devices (デバイス) チャームを表示させます。



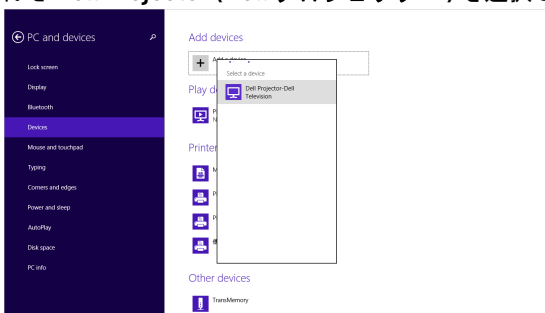
- 6 「Project (表示)」を選択します。



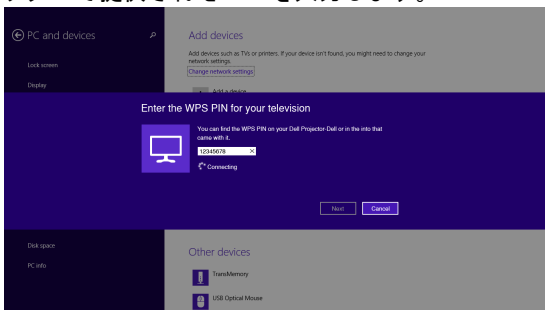
- 7 「Add a wireless display (ワイヤレス表示を追加)」を選択します。



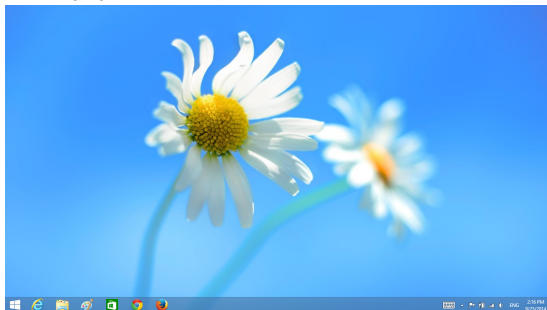
- 8 検知された Dell Projector (Dell プロジェクター) を選択します。



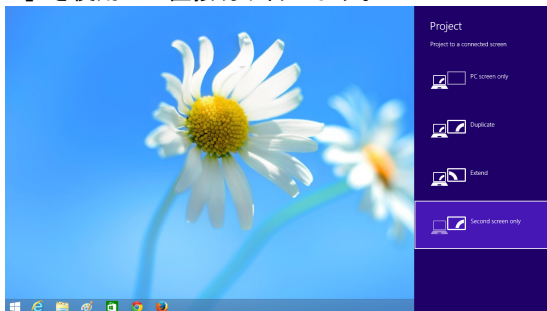
- 9 ペアリング確認のため、「プロジェクターで Miracast を有効にする」のステップ 4 で提供された PIN を入力します。





- 10 スクリーンが投影されます。

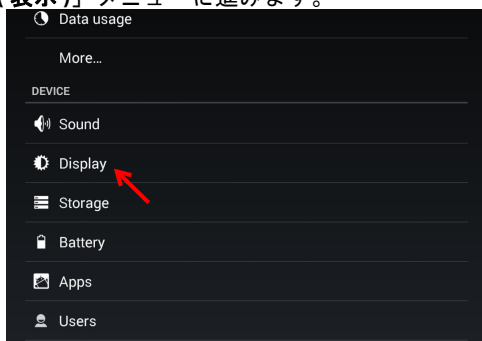


- 11 投影モードを調整または切断するには、Devices (デバイス) チャームを表示し、「Project (表示)」を選択します。または、ショートカット「Win + P」を使用して直接切り替えます。

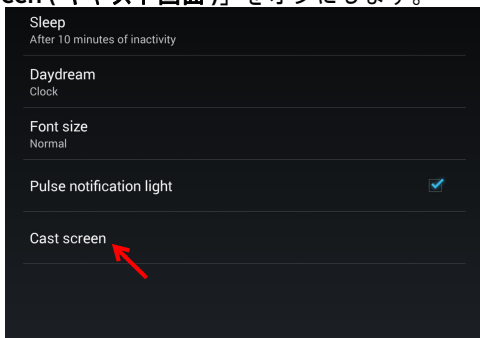


Android 4.4 またはそれ以降での Miracast の使用

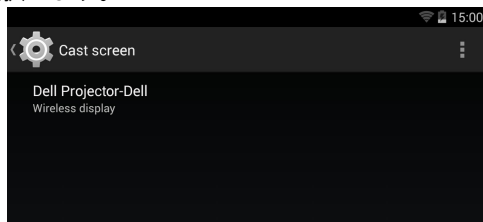
- 12 「Settings (設定) 」メニューに進みます。
- 13 「Display (表示) 」メニューに進みます。



- 14 「Cast Screen (キャスト画面)」をオンにします。

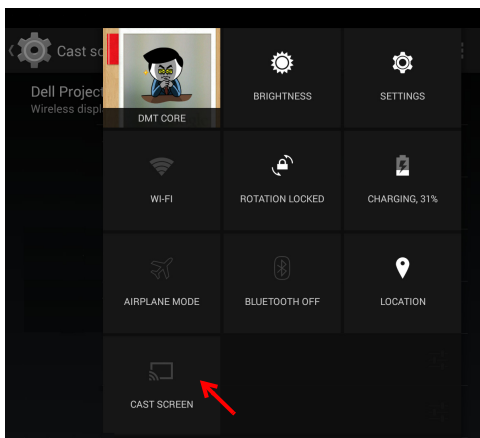


- 15 検出されたワイヤレスディスプレイデバイス(つまり、Dell Projector-Dell)を選択します。

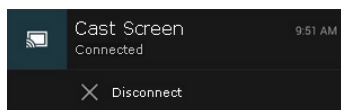


- 16 スクリーンが投影されます。

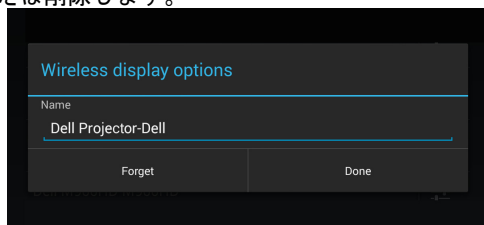
- 17 「Cast Screen (キャスト画面)」をオンにすると、クイック設定から「Cast Screen (キャスト画面)」へのダイレクトアクセスが網掛けされます。





- 18 通知シェードから「Disconnect (切断)」までスワイプします。



- 19 キャスト画面の UI で「Settings (設定)」をタップして、デバイスを名称変更または削除します。




Miracast のサポート

Miracast を使用するために、Android 4.4 またはそれ以降が稼働するデバイスが必要です。お使いのデバイスで 4.4 またはそれ以前が稼働している場合、メニューアイコンはこのようになります 。お使いのデバイスで 4.3 またはそれ以前が稼働している場合、設定アイコンはこのようになります 。

Miracast に関する詳細情報については、Web サイト (<https://support.google.com/nexus/answer/2865484?hl=en>) にアクセスしてください

ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用

システム要件

 **メモ**：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP Home または Professional Service pack 2 (32 ビットを推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows 7 Home または Professional (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows 8 (32 ビットまたは 64 ビット)

- Mac

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

a Intel Dual Core 1.4 MHz 以上

b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨

c 10 MB の空きハードディスク容量

d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード

e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)

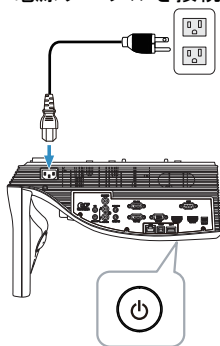
f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

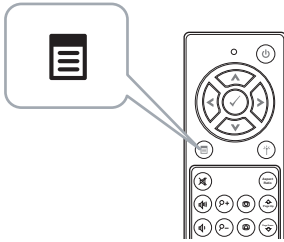
Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) あるいは 8.0、Firefox 2.0、Safari 3.0 およびそれ以降







プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

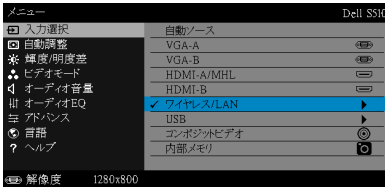


2 リモコンのメニューボタンを押します。

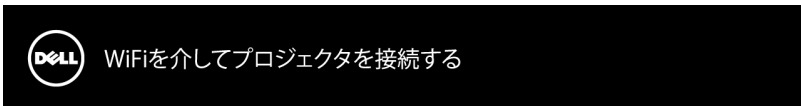


 **メモ**： ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス /LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス /LAN ディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



最初の接続の場合



1. コンピュータをプロジェクタのワイヤレスネットワーク (SSID) に接続します。

[Dell Projector abc](#)



2. Web ブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力します。

[192.168.100.10](#)



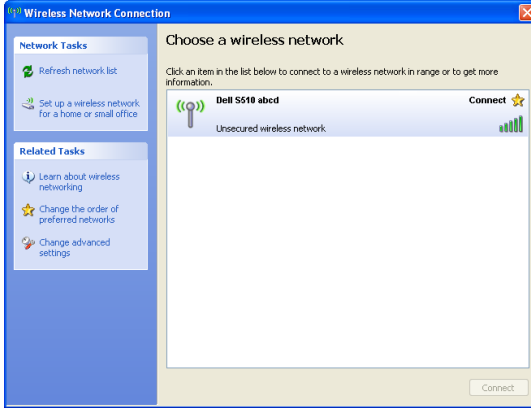
3. 「ダウンロード」をクリックし、インストールプログラムを実行します



4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインする際に、この情報が必要となります。

Windows でのワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの使用 お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをワイヤレス でインストールする

- 5 コンピュータを Dell プロジェクタ abcd ワイヤレスネットワークに接続します。

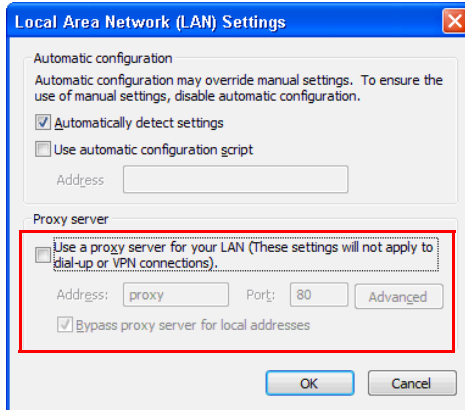


メモ：

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- Dell プロジェクタ abcd ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。



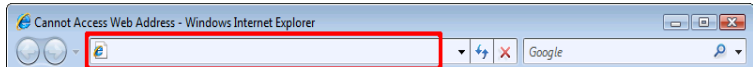
メモ：すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。
(Microsoft® Windows Vista：コントロールパネル → インターネット
オプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 6 インターネットブラウザを開きます。S510 または S510n Web 管理 Web ページに自動的にジャンプします。



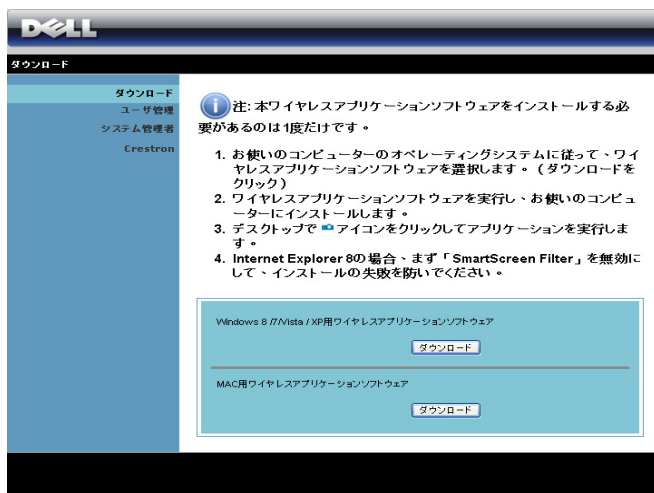
メモ：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。



- 7 S510 または S510n の Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。



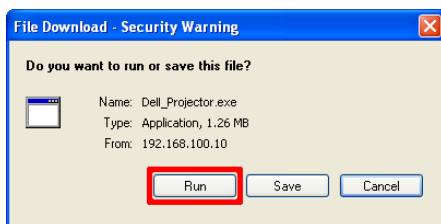
- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。



- 9 **実行** をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。



メモ: ファイルを保存した後でインストールを選択することができます。これを実行するには、**保存** をクリックします。



メモ: オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。Dell サポートサイト (dell.com/support) から「**オーディオ投影ドライバ**」をダウンロードできます。




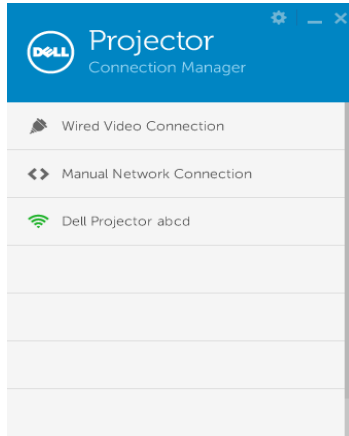
メモ: コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 10 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



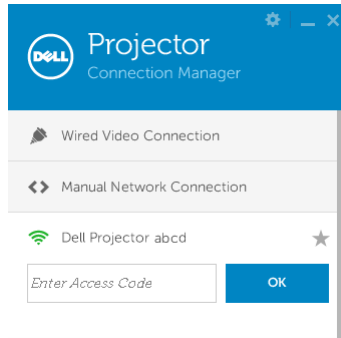
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。



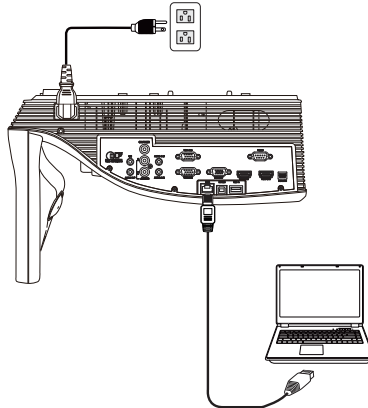
ログイン

ステップ 4 の ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用で提供されたアクセスコードを使ってログインし、OK をクリックします。




お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャを LAN でインストールする

- 11 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。

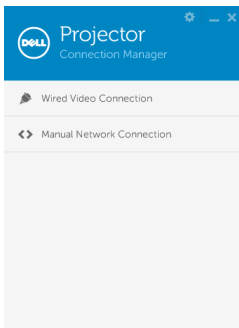


- 12 Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールするには、ステップ 6～10 を繰り返します。

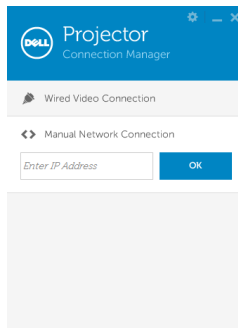
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動・ログインする

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。

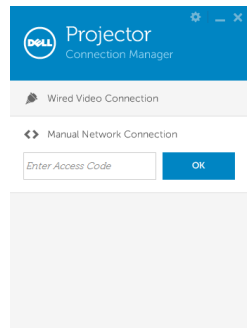
- 「手動ネットワーク接続」(図 1) をクリックします。
- IP アドレス (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。
- アクセスコード (図 3) を入力します。



(図 1)



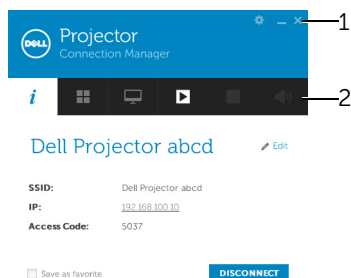
(図 2)













(図 3)

ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。

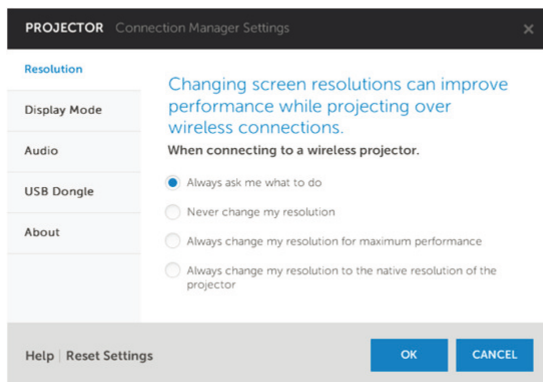


項目	説明
1 ステータスバー	
 設定	クリックして、アプリケーション設定を有効にします。
 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2 コントロールツールバー	
 情報	クリックして、SSID、IP およびアクセスコード情報を表示します。
 共有モード	クリックして、共有モードを有効にします。
 ディスプレイモード	クリックして、ディスプレイモードを変更します。
 開始	クリックして投影を開始します。
 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
 オーディオ	クリックして、オーディオ投影のオン / オフを切り替えます。

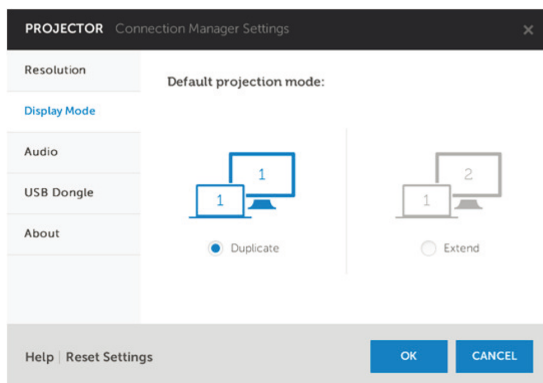
設定を使用する

⚙️ をクリックして設定メニューを表示します。

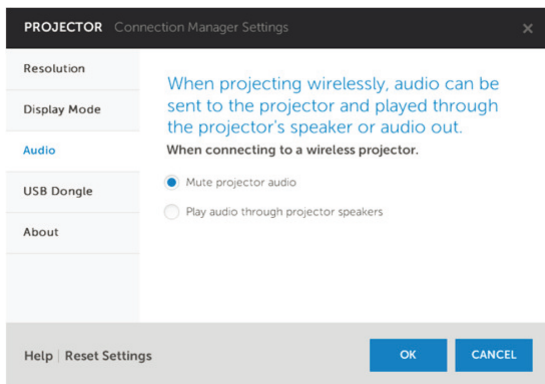
RESOLUTION (解像度)—解像度を設定します。



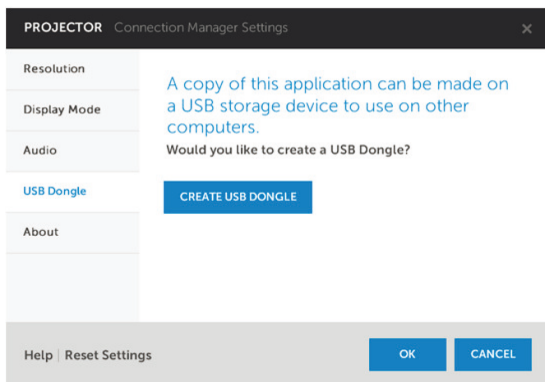
DISPLAY MODE (ディスプレイモード)—デフォルト投影モードを設定できます。



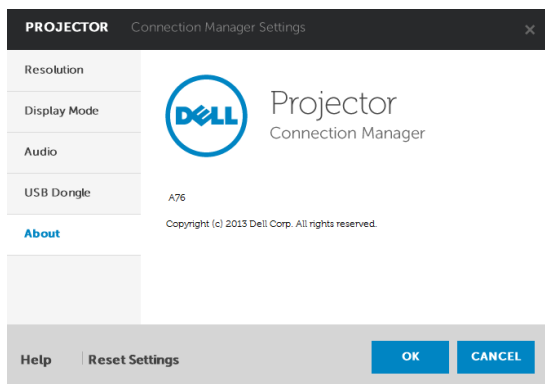
AUDIO (オーディオ)—オーディオ設定を変更できます。



USB DONGLE (USB ドングル)—USB ドングルを作成できます。86 ページの「プラグ&ショー投影用に USB トークンを作成する」を参照してください。



ABOUT (バージョン情報)—アプリケーションのバージョンを表示します。



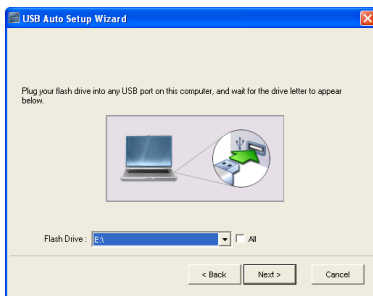
プラグ&ショー投影用に USB トークンを作成する

アプリケーショントークンでは、USB トークンを使用してプラグおよび表示を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアで、 > **USB Dongle (USB ドングル)** をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。**Next (次へ)** をクリックします。




- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、**Next (次へ)** をクリックします。



- 4 **Finish (終了)** をクリックしてウィザードを閉じます。

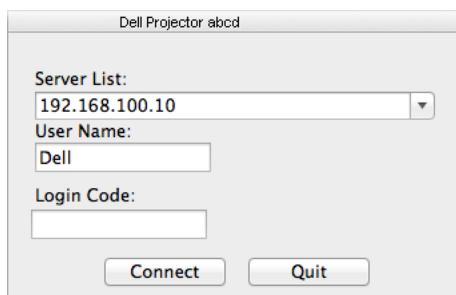


Mac でのワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの使用 お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェア をワイヤレスで起動する

- 5 コンピュータを Dell プロジェクタ abcd ワイヤレスネットワークに接続します。
 - 6 Safari ブラウザを開きます。**S510 Web 管理** Web ページに自動的にジャンプします。
-  **メモ** : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください (デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10)。
- 7 S510 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。
 - 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。
 - 9 ダウンロードしたフォルダで、**Dell_S510.dmg** を実行します。
 - 10 Dell S510 フォルダで、**Dell S510 ワイヤレスアプリケーション**を実行します。

ログイン

ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用のステップ 4 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、「接続」をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "Dell Projector abcd". It contains the following fields and buttons:

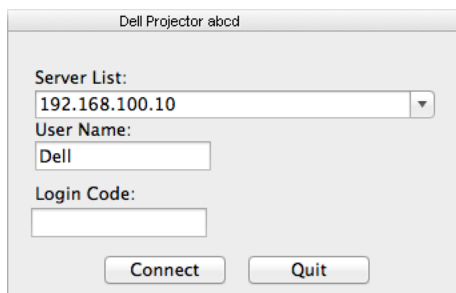
- Server List:** A dropdown menu with "192.168.100.10" selected.
- User Name:** A text input field containing "Dell".
- Login Code:** An empty text input field.
- Buttons:** "Connect" and "Quit" buttons at the bottom.

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを LAN で起動する

- 11 LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。
- 12 Dell ワイヤレスアプリケーションを起動するには、**ステップ 6～10**を繰り返します。

ログイン

ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用のステップ 4 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、「接続」をクリックします。















This screenshot is identical to the one above, showing the "Dell Projector abcd" dialog box with the "Server List" set to "192.168.100.10", "User Name" as "Dell", and an empty "Login Code" field.






ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。



	項目	説明
1	ステータスバー	IPとログインコード情報を表示します。
	 メニュー	このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
	 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	コントロールツールバー	
	 全画面	このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	 分割 1	このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	 分割 2	このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	 分割 3	このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	 分割 4	このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 オーディオ投影	このボタンをクリックするとオーディオ投影が有効になります。	
3	接続状態	
	 接続アイコン	投影が進行中の時に点滅します。


プレゼンテーションの投影

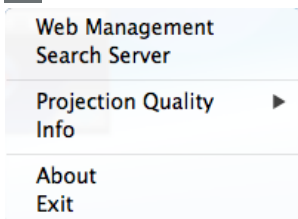
- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします .
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションをオーディオ投影するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。



メモ：802.11g 接続を使用する WLAN 環境、画面の伸縮はありません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。



WEB 管理サービス —このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。51 ページの「対話型ペンの使用 (S510 の場合のみ)」をご覧ください。

検索サーバー —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクタを検索し、接続します。

投影品質 —投影品質を「不明瞭で高速」または「明瞭で低速」で設定することができます。

情報 —このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

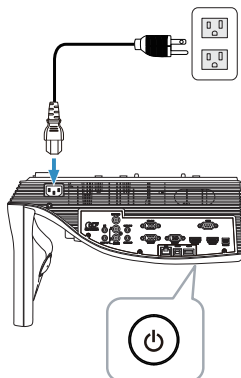
バージョン情報 —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

USB ディスプレイ (DoUSB) の使用

Windows での USB ディスプレイ

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 USB (タイプ A - B) ケーブルをプロジェクタおよびコンピュータに接続します。
- 3 USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、USB 接続のメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** を選択できます。「**DoUSB**」オプションを選択し、USB ディスプレイソースに切り替えます。

USB接続済み

USB経由でプロジェクタをコンピュータに接続済みです。

入力ソースとしてDoUSBを使ってコンピュータから
投影を開始する場合、「DoUSB」を選択します。

コンピュータとプロジェクタの内部メモリ間でファイルを
コピーする場合は、「ストレージメディア」を選択します。

DoUSB

ストレージメディア

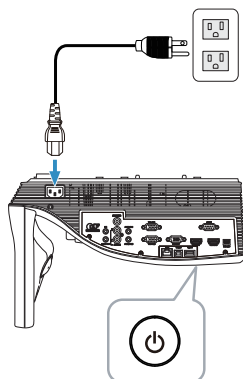
キャンセル



メモ : DoUSB が表示されない場合は、130 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」を参照してください。

Mac での USB ディスプレイ

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 USB（タイプ A - B）ケーブルをプロジェクタおよびコンピュータに接続します。
- 3 USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、USB 接続のメッセージが表示され、**DoUSB** または**ストレージメディア**を選択できます。「**DoUSB**」オプションを選択し、USB ディスプレイソースに切り替えます。

USB接続済み

USB経由でプロジェクタをコンピュータに接続済みです。

入力ソースとしてDoUSBを使ってコンピュータから投影を開始する場合、「DoUSB」を選択します。

コンピュータとプロジェクタの内部メモリ間でファイルをコピーする場合は、「ストレージメディア」を選択します。

DoUSB

ストレージメディア

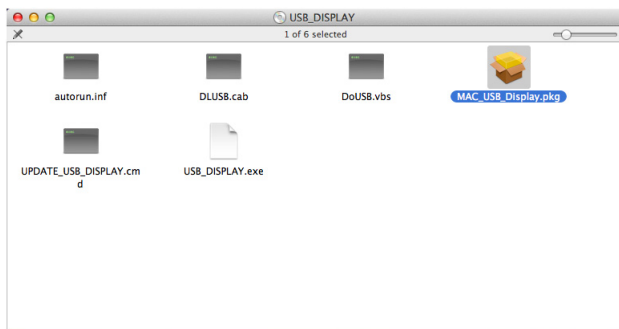
キャンセル



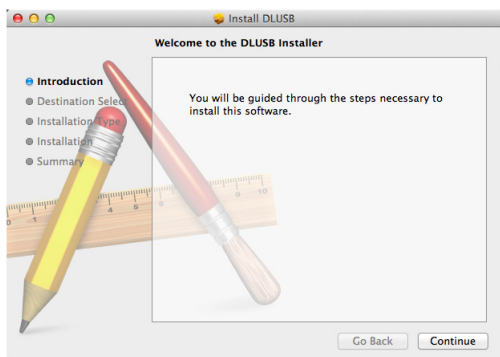
メモ：DoUSB 機能は、Mac オペレーティングシステムにドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。93 ページの「**DoUSB** ドライバのインストール」をご覧ください。

DoUSB ドライバのインストール

- 1 デスクトップで、「USB_DISPLAY」アイコンをダブルクリックします。
- 2 USB_DISPLAY フォルダで、「MAC_USB_Display.pkg」ファイルを実行します。



- 3 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



- 4 インストール完了後、お使いのコンピュータを再起動します。

PC フリープレゼンテーションの使用

マルチメディアファイルタイプのサポート

写真

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル
GIF			8000 x 8000
PNG			8000 x 8000
BMP			8000 x 8000
JPEG/JPG	ベースライン	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	

ビデオ

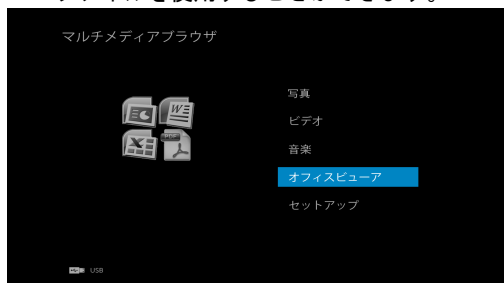
ファイル形式	最大解像度	最大ビットレート (bps)	最大表示	オーディオ形式
Motion JPEG	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	LPCM
AVI	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	MPEG-1 Layer 3
MPEG-4	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MOV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
ASF	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MKV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
WMV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	WMA

音楽


音楽タイプ (拡張子名)	最大サンプルレート (KHz)	最大ビットレート (Kbps)
LPCM	48 KHz	320 Kbps
MPEG-1 Layer 3	48 KHz	320 Kbps
WMA	48 KHz	320 Kbps
WAV	48 KHz	320 Kbps
OGG	48 KHz	320 Kbps







オフィスビューアファイルタイプのサポート

オフィスビューア機能により、MS Excel、MS Word、MS PowerPoint および PDF ファイルを使用することができます。




ボタンの概要

上、下、左、右ボタンを使ってナビゲートし、リモコンの  ボタンを使って選択します。

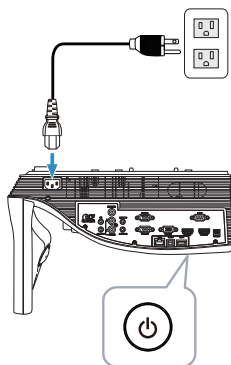
ボタン	上 	下 	左 	右 	入力 	メニュー 
	機能なし	機能なし	前のページ	次のページ	機能なし	前メニューに戻る

外部 USB ストレージを使って、プレゼンテーションを設定する

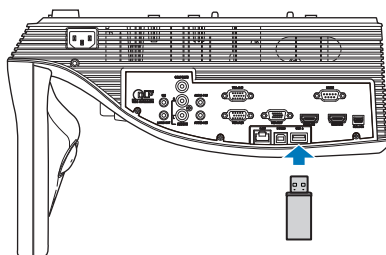
 **メモ**：マルチメディア USB 機能を使用する場合、プロジェクトに USB フラッシュディスクをつなぐ必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

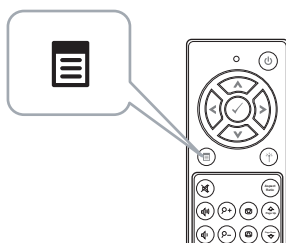
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



- 2 USB フラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



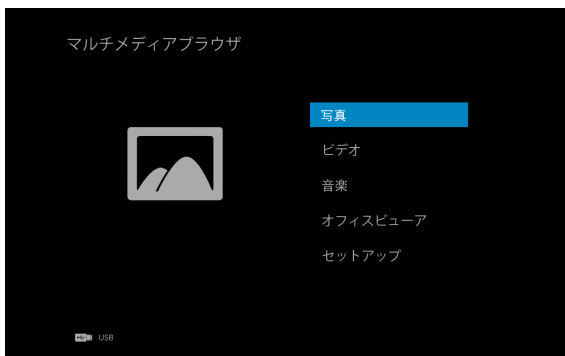
- 3 リモコンのメニューボタンを押します。



- 4 入力選択メニューにアクセスし、**USB** を選択し、サブメニューで **USB ビューア** を引き続き選択します。



USB 画面が次のように表示されます。

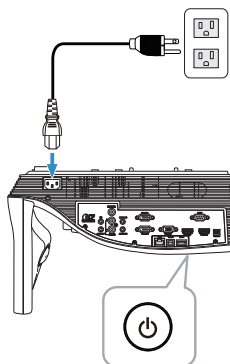


- 5 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル (**写真**、**ビデオ**、**音楽**または**オフィスビューア**) を選択し、**✓** を押して再生を開始します。または、**セットアップ** オプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。101 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

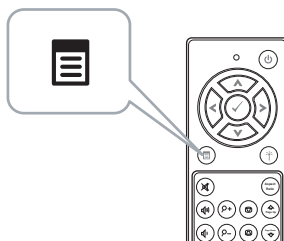
内部メモristレージを使って、プレゼンテーションを設定する

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

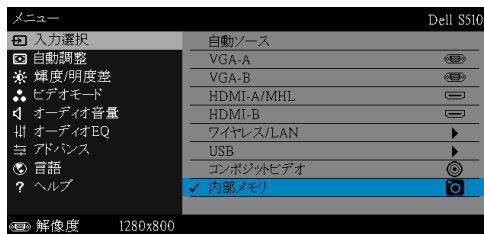
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



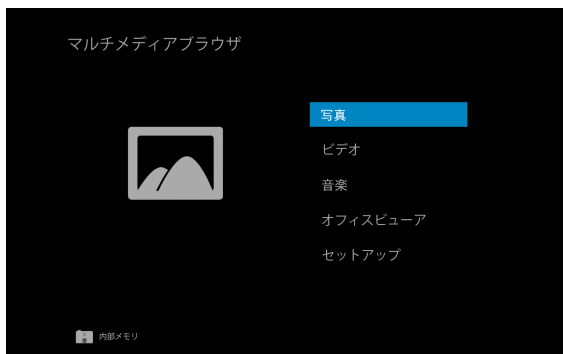
- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、内部メモリソースを選択します。



内部メモリ画面が次のように表示されます。



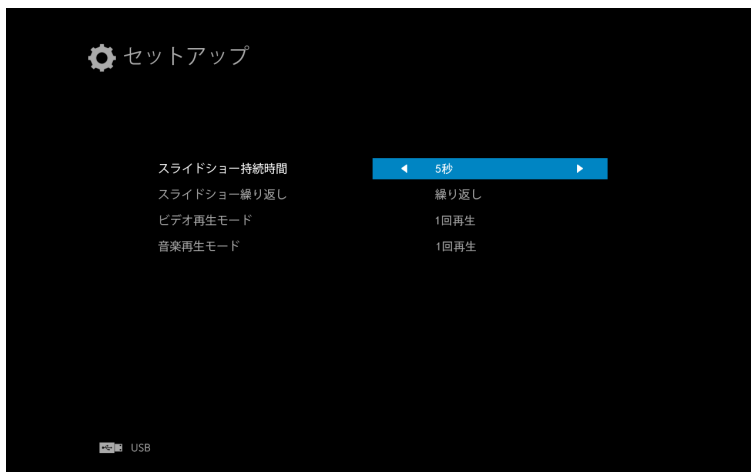
- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、 を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。101 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

PC フリープレゼンテーションの調整

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。



メモ：USB および内部メモリでマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。



スライドショー持続時間 ←◀または▶を押ししてスライドショー表示間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5 秒、10 秒、30 秒、と 1 分。

スライドショー繰り返し ←◀または▶を押しして、繰り返しまたは繰り返しなしでスライドショーのリピートを選択します。

ビデオ再生モード ←◀または▶を押ししてムービー再生モードを選択します。オプション：1 回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

音楽再生モード ←◀または▶を押ししてムービー再生モードを選択します。オプション：1 回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

オーディオ投影の使用

システム要件

オーディオ投影では、ワイヤレスディスプレイおよび LAN ディスプレイ入カソースのみをサポートしています。

システムの最小要件は次の通りです。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional サービスパック 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、または、Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット、Windows 8 32 ビットまたは 64 ビット

- Mac

MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Intel® Core™ i5-460 MHz (2.53 GHz/Turbo 2.8 GHz) 以上
- b 1 GB DDR3 VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 1066 MHz で 2 GB デュアルチャンネル DDR3 SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 a/b/g/n Wi-Fi デバイス




メモ：コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、オーディオ投影が遅くなったりノイズが生じる可能性があります。オーディオ投影のパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



メモ：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。Dell サポートサイト (dell.com/support) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。



メモ：オーディオ投影機能は、Mac オペレーティングシステムの場合、追加ドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト (例、Yahoo、MSN...) からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。

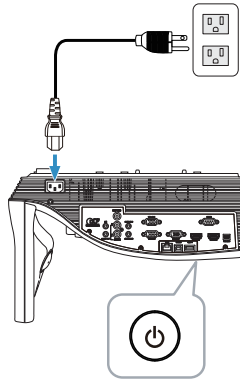
 **メモ**：イーサネットを介する投影用のプロジェクタへの接続用ポート / プロトコル：

UDP: 1047, (バックアップ: 1048, 1049)

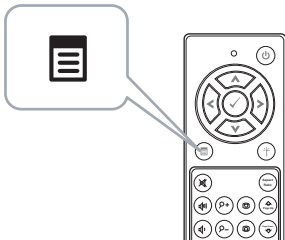
TCP: 3268, 515, 1688, 1041 (バックアップ: 389, 8080, 21)

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

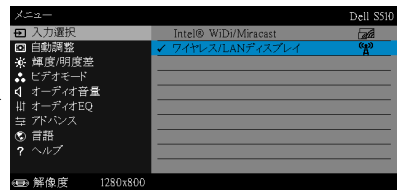
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス / LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス / LAN ディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

Windows でのオーディオ投影の使用

お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをワイヤレスでインストールする


- 5 オーディオ投影のセットアップに無線または LAN を使用している場合、「Dell プロジェクタ接続マネージャ」が必要になります。初めてオーディオ投影を使用する際に、このソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。すでにインストールされている場合は、ステップ 5～6 を省略してください。

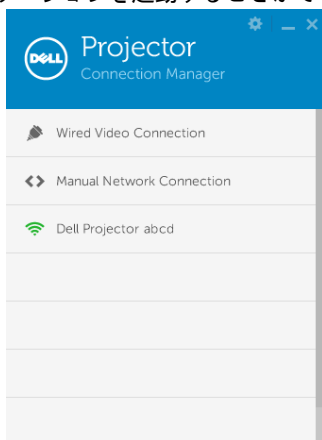


メモ：「Dell プロジェクタ接続マネージャ」のインストールが必要なのは 1 回だけです。

- 6 Dell プロジェクタ接続マネージャのダウンロードおよびインストールステップについては、74 ページの「ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用」のステップ 6 から 10 を参照してください。

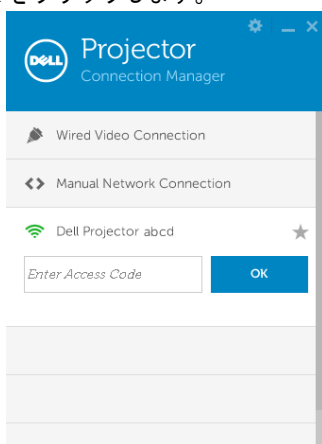
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。



ログイン


オーディオ投影インストールのステップ 4 で提供されるアクセスコードでログインし、その後、OK をクリックします。



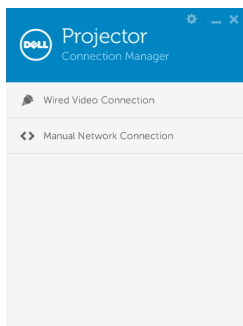
お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャを LAN でインストールする

- 7 LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。
- 8 Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールするには、**ステップ 6** を参照してください。

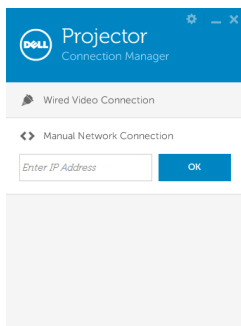
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。

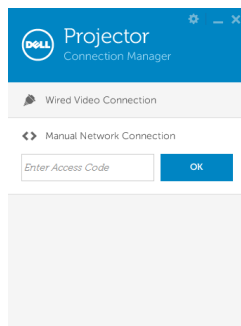
- a 「**手動ネットワーク接続**」(図 1) をクリックします。
- b **IP アドレス** (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。
- c **アクセスコード** (図 3) を入力します。



(図 1)



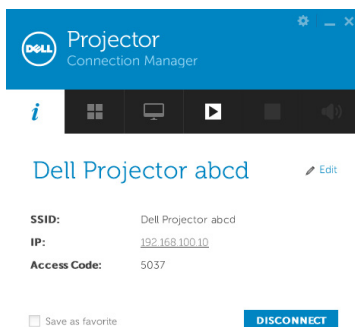
(図 2)



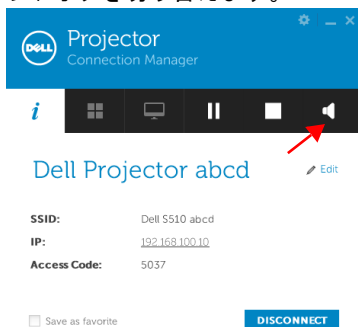
(図 3)

プレゼンテーション(オーディオ投影)

- 9 現在、Dell プロジェクタ接続マネージャにログインしています。アプリケーションの「再生」ボタンを押して、LAN またはワイヤレス投影を開始します。



- 10 アプリケーションの「オーディオ投影」ボタンをクリックして、オーディオ投影のオン/オフを切り替えます。




メモ: オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。Dell サポートサイト (dell.com/support) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。

- 11 コンピュータで Windows Media Player またはその他のオーディオプレーヤーソフトウェア（例えば、Winamp プレーヤーなど）を実行します。



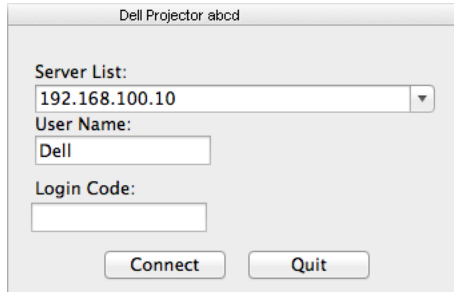
Mac でのオーディオ投影の使用

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをワイヤレスで起動する

- 12 コンピュータを Dell プロジェクタワイヤレスネットワークに接続します。
 - 13 Safari ブラウザを開きます。**S510 Web 管理** Web ページに自動的にジャンプします。
-  **メモ** : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。
- 14 S510 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード** をクリックします。
 - 15 アプリケーションオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード** をクリックします。
 - 16 ダウンロードしたフォルダで、**Dell_S510.dmg** を実行します。
 - 17 Dell S510 フォルダで、**Dell S510 ワイヤレスアプリケーション** を実行します。

ログイン

オーディオ投影インストールのステップ4で提供されるアクセスコードでログインし、その後、「接続」をクリックします。




- 18 S510 ワイヤレスアプリケーションにログインできるようになりました。アプリケーションの「投影」ボタンを押して、ワイヤレスまたはLAN 投影を開始します。



- 19 アプリケーションの「オーディオ投影」ボタンをクリックして、オーディオ投影のオン / オフを切り替えます。



 **メモ**：オーディオ投影機能は、Mac オペレーティングシステムの場合、追加ドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト（例、Yahoo、MSN...）からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。110 ページの「Soundflower ドライバのインストール」をご覧ください。

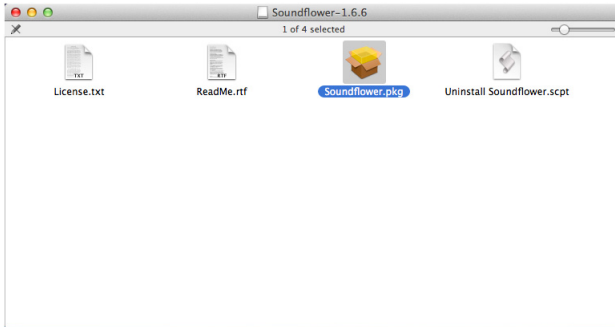
- 20 お使いのコンピュータでオーディオプレーヤーソフトウェアを実行します。

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを LAN で起動する

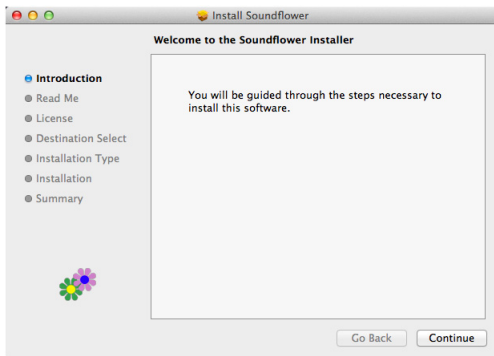
- 21 LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。
- 22 Dell ワイヤレスアプリケーションを起動し、ログインするには、ステップ 6 ~ 13 を繰り返します。

Soundflower ドライバのインストール

- 1 「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト（例、Yahoo、MSN...）からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。
- 2 ダウンロードしたフォルダで、「Soundflower.dmg」ファイルを実行します。
- 3 Soundflower フォルダで、「Soundflower.pkg」ファイルを実行します。



- 4 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



Web ブラウザでプロジェクトを管理する

ネットワーク設定を行う

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、44 ページの「LAN 設定」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。44 ページの「LAN 設定」を参照します。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

DoWiFi プロジェクタアプリケーションをダウンロードする

74 ページの「ワイヤレス /LAN ディスプレイ (DoWiFi/DoLAN) の使用」を参照してください。


The screenshot shows the Dell website interface. At the top is the Dell logo. Below it is a dark navigation bar with the text "ダウンロード" (Download). On the left side, there is a blue sidebar menu with the following items: "ダウンロード", "ユーザ管理", "システム管理者", and "Crestron". The main content area has a light blue background. It starts with an information icon (i) and a note: "注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。" (Note: You only need to install this wireless application software once). Below the note is a numbered list of four instructions: 1. Select the operating system on your computer and click the wireless application software download button. 2. Run the wireless application software and install it on your computer. 3. Click the icon on the desktop to run the application. 4. For Internet Explorer 8, disable the SmartScreen Filter before installation to prevent failure. Below the list is a white box with a light blue border containing two download buttons. The first button is for "Windows 8 /Vista /XP用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア" (Wireless application software for Windows 8 /Vista /XP) and the second is for "MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア" (Wireless application software for MAC).

コンピュータの対応するオペレーティングシステムのダウンロードボタンをクリックします。

ユーザ管理







これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。




 **メモ**：会議撮影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

パソコン名：会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール：ボタンをクリックして、各コンピュータの投影がスクリーンに表示される方法を制御します。

-  全画面投影 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面全体に占められます。
-  分割 1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
-  分割 2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
-  分割 3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
-  分割 4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
-  停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス：各コンピュータの IP アドレスを表示します。

 **メモ**：会議を終了するには、ホームをクリックします。

プロジェクト設定の管理

システム管理者

The screenshot shows the Dell Project Settings Management System Administrator interface. At the top is the Dell logo. Below it is a navigation menu with the following items: システム管理者 (System Administrator), ダウンロード (Download), ユーザ管理 (User Management), システム管理者 (System Administrator), and Crestron. The main content area contains a login form with the following fields:

管理者パスワード	<input type="password"/>	ログイン
PPID	CN-ONJSDM-S0081-48B-0001	

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

管理ページにアクセスするには、システム管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**: 管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、119 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

状態

The screenshot shows the Dell System Management interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "システム管理者 > 状態" (System Administrator > Status) and a "ホーム" (Home) button. The main content area is divided into three sections:

- ネットワーク状態 (Network Status):** A table showing network configuration details.
- 接続状態 (Connection Status):** A table showing connection details.
- プロジェクターの状態 (Projector Status):** A table showing projector configuration and status.

On the left side of the interface, there is a vertical menu with the following items:

- 再起動 (Restart)
- アラート設定 (Alert Settings)
- プロジェクトのコントロールパネル (Projector Control Panel)
- ファームウェア更新 (Firmware Update)
- 出荷時状態に戻す (Restore to Factory Settings)
- パスワードの変更 (Change Password)
- 投影セットアップ (Projection Setup)
- ネットワークセットアップ (Network Setup)

The status information is displayed in the following tables:

ネットワーク状態	
IPアドレス	192.168.100.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10
MACアドレス	B8:CA:3A:FD:5A:A2

接続状態	
投影状態	投影待ち中
ユーザー数	0

プロジェクターの状態	
モデル名	SS10
プロジェクター名	Dell Projector
場所	
連絡先	
ステータス	オン
ランプ時間	40 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

ネットワークセットアップ

44 ページの OSD セクションを参照してください。

The screenshot shows the Dell network configuration interface. The left sidebar contains navigation options: 状態 (Status), ネットワークセットアップ (Network Setup), 設定セットアップ (Configuration Setup), パスワードの変更 (Change Password), 出荷時状態に戻す (Restore to Factory Default), ファームウェア更新 (Firmware Update), プロジェクタのコントロール パネル (Projector Control Panel), アラート設定 (Alert Settings), and 再起動 (Restart). The main area is titled 'システム管理者 > ネットワークセットアップ' and includes a 'ホーム' link. The configuration is divided into several sections:

- IP セットアップ (IP Setup):** Includes options for automatic IP address acquisition and manual IP address entry. Fields for IP Address (192.168.100.10), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10) are shown.
- DHCP セットアップ (DHCP Setup):** Includes options for automatic or disabled DHCP. Fields for Start IP Address (192.168.100.11), End IP Address (192.168.100.254), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10) are shown.
- 無線セットアップ (Wireless Setup):** Includes options for enabled or disabled wireless. Fields for Region (Worldwide), SSID (Projector abcdef), SSID Broadcast (Enabled/Disabled), Frequency Band (2.40 B/G/N mixed), Channel (Auto), Security (Disabled), Key, and TX mode channel (20MHz/40MHz) are shown.
- RADIUS Server Setup:** Fields for IP Address (192.168.100.10), Port (1812), and Key are shown.
- GateKeeper:** Includes options for All Open, All Restricted, or Internet Only.
- SNMP:** Includes a checkbox for enabling SNMP and a field for the community string (private).

Buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) are located at the bottom right of the configuration area.

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、Frequency Band、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバアドレスを DHCP サーバーから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSID ブロードキャスト**、**Frequency Band**、**チャンネル**、**セキュリティ**、**キー**および**TX mode channel** をセットアップします。**無効**を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID : 最大 32 の文字長。

セキュリティ : WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー : 暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

RADIUS Server Setup

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

GateKeeper

- 3つのオプションがあります。

全て開放 : ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断 : ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放 : ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

適用 ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

投影セットアップ

投影セットアップ	解像度	WXGA (1280x800)
	認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定 <input type="text"/>
プロジェクトのセットアップ	モデル名	S510
	プロジェクト名	Dell Projector
	場所	<input type="text"/>
	連絡先	<input type="text"/>

適用 キャンセル

投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) および WXGA (1280 x 800)。
- **認証コード**：プロジェクトでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはアトラランダムに生成されます。
 - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

プロジェクトのセットアップ

- **プロジェクト名**、**場所**、および**連絡先情報**を設定します（各フィールドごと最大 21 文字）。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

パスワードの変更

The screenshot shows the Dell System Administrator web interface. At the top is the Dell logo. Below it, a navigation bar shows 'システム管理者 > パスワードの変更' and a 'ホーム' link. A left sidebar contains a menu with options: '状態', 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更' (highlighted), '出荷時状態に戻す', 'ファームウェア更新', 'プロジェクトのコントロールパネル', 'アラート設定', and '再起動'. The main content area is titled 'システム管理者' and contains a form with two input fields: '新しいパスワード' and 'パスワード再入力', followed by an '適用' button.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。



メモ：管理者パスワードを忘れた場合、Dellにご連絡ください。

出荷時状態に戻す

システム管理者 > 出荷時状態に戻す ホーム >>

状態
ネットワークセットアップ
投影セットアップ
パスワードの変更
出荷時状態に戻す
ファームウェア更新
プロジェクトのコントロールパネル
アラート設定

再起動

出荷時状態に戻す
これで、ワイヤレス/ネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。

適用

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

ファームウェア更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。

システム管理者 > ファームウェア更新 ホーム >>

状態
ネットワークセットアップ
投影セットアップ
パスワードの変更
出荷時状態に戻す
ファームウェア更新
プロジェクトのコントロールパネル
アラート設定

再起動

ワイヤレスファームウェアバージョン	V27
リリース日	20140905

ファームウェアのアップデートには数分かかります。いったんプロセスが開始されたら中断しないで下さい。更新が完了すると、ワイヤレスシステムは自動的に再起動します。更新するファイル(*.awd)を選択してください。

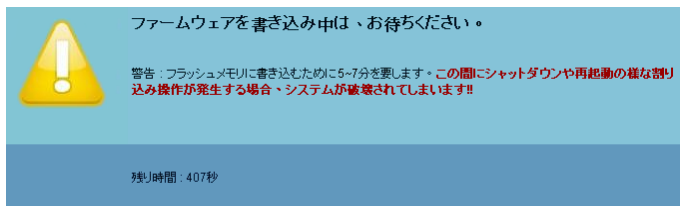
ファイル名 参照...

更新

メモ: ファームウェアアップグレードが成功した後、OSDを使ってワイヤレス/ネットワークの無効/有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

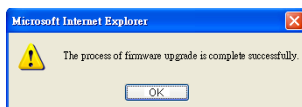
ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 **dell.com/support** からファームウェアファイルをダウンロードできます。
- 2 **参照**を押して更新するファイルを選択します。
- 3 **更新**ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



△ **注意：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。**

- 4 更新が完了したら、**確認**をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

プロジェクト情報

- **プロジェクターの状態**：次の5つの状態があります：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**：省電力は オフ、20分、60分、90分、120分に設定できません。詳しくは、49ページの「省電力」を参照してください。
- **アラート状態**：3つのアラート状態があります：ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアをクリックしてアラート状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の2つの投影モードがあります：前面投影 - 壁取付および背面投影 - 壁取付。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、コンポジットビデオ、HDMI-A、HDMI-B、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、または、内部メモリを選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
 - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。
 - **明るさ**：最大の明るさとコントラスト。
 - **映画**：映画と写真の表示用です。
 - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**：お好みの設定です。
- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフも選択できます。
- **縦横比**：縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

自動調整ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。

出荷時にリセットボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

システム管理者 > アラート設定

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの管理

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

Eメールアラート

有効 無効

メール警報テスト

宛先

Cc

発信元

件名

SMTP設定

送信SMTPサーバ

ユーザー名

パスワード

警報条件

ランプ警告

ランプ寿命が短くなっています

ランプ寿命が短くなっています

保存

Eメールアラート

- Eメールアラート：Eメールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- 宛先 /Cc / 発信元：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先 /Cc）のEメールアドレスを入力できます。
- 件名：Eメールの件名を入力できます。

メール警報テストボタンをクリックして、Eメールアラート設定をテストします。

SMTP設定

- 送信SMTPサーバ、ユーザー名とパスワードはネットワーク管理者またはMISから提供を受ける必要があります。

警報条件

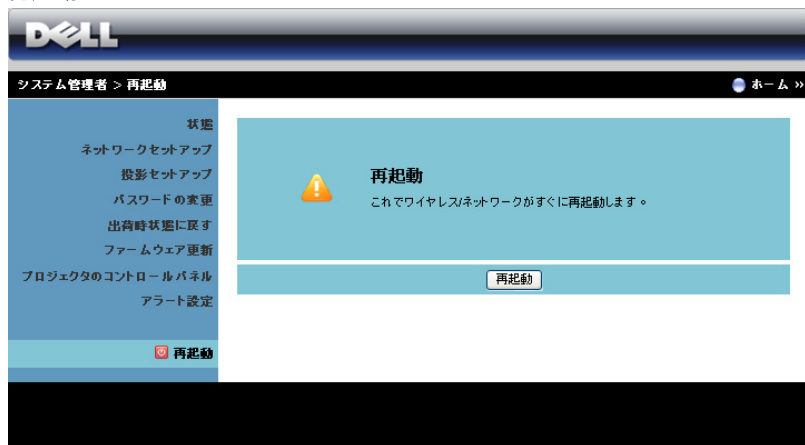
- Eメールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、Eメールが受信者（宛先 /Cc）に送信されます。

保存ボタンをクリックして設定を保存します。



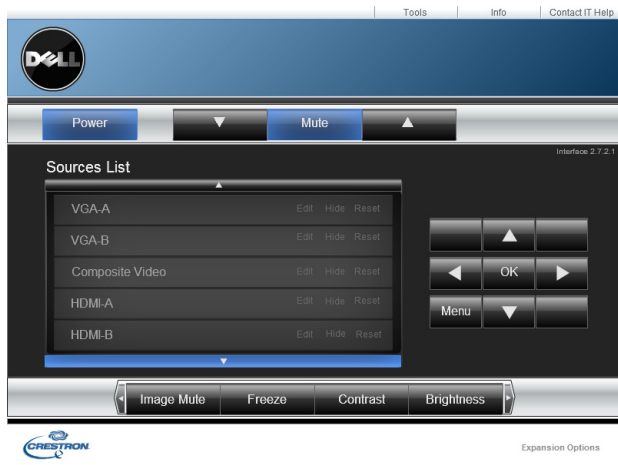
メモ：Eメールアラートは、デフォルトの25ポートを使う標準のSMTPサーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証（SSLまたはTLS）はサポートしません。

再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron Roomview に接続されたプロジェクタの管理



項目	説明
1 電源ボタン	クリックして、プロジェクタ電源のオン/オフを切り替えます。
2 音量制御バー	このボタンをクリックして音量を上げます。 消音をクリックして、プロジェクタスピーカーのオン/オフを切り替えます。 このボタンをクリックして音量を下げます。
3 OSD ナビゲーションパッド	メニューをクリックして、プロジェクタ OSD のオン/オフを切り替えます。 矢印キーを使用して OSD オプションをナビゲートし、OK をクリックして選択します。
4 輝度ボタン	クリックしてプロジェクタの表示輝度を調整します。
5 コントラストボタン	クリックしてプロジェクタの表示コントラストを調整します。
6 フリーズボタン	クリックして、プロジェクタスクリーン画像のフリーズのオン/オフを切り替えます。
7 画像消音ボタン	クリックして、プロジェクタ表示のオン/オフを切り替えます。この機能では、プロジェクタ電源のオン/オフは切り替わりません。
8 ソースリストパネル	プロジェクタの入カソースを切り替えることができます。

ツールウィンドウを使用する

オペレーションウィンドウ上のツールタブをクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。このウィンドウを使用して、現在接続されているプロジェクトの設定を変更できます。

The screenshot shows a web-based configuration interface for a Crestron projector. The interface is divided into three main sections: Crestron Control, Projector, and User Password. The Crestron Control section includes fields for IP Address, IP ID (set to 5), and Port (set to 41794), with a Send button. The Projector section includes fields for Projector Name (set to S510), Location, Assigned To, and a Send button. Below these are DHCP settings: a checked 'Enabled' checkbox, IP Address (192.168.100.10), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10), with a Send button. The User Password section includes a checkbox for 'Enabled', a New Password field, and a Confirm field, with a Send button. Below this is the Admin Password section, also with a checkbox for 'Enabled', a New Password field, and a Confirm field, with a Send button. At the bottom center is an Exit button. The interface has a blue header with the Dell logo and navigation links for Tools, Info, and Contact IT Help. The Crestron logo is at the bottom left, and 'Expansion Options' is at the bottom right.

Crestron コントロール

- Crestron® 中央コントローラーを設定します。

プロジェクト

項目	説明
1 Projector Name (プロジェクト名)	現在接続されているプロジェクトに対し、ネットワーク上の他のプロジェクトと異なる名前を入力します。(名前には最大 15 文字までの半角英数文字を含めることができます。)
2 Location (場所)	ネットワークに現在接続されているプロジェクトの、インストール位置の名前を入力します。(名前には最大 32 文字までの半角英数文字および記号を含めることができます。)
3 Assigned To (割当て先)	プロジェクトのユーザー名を入力します。(名前には最大 32 文字までの半角英数文字および記号を含めることができます。)

項目	説明
4 DHCP	DHCP を使用するために Enabled (有効) チェックボックスを選択します。DHCP が有効化されている場合は IP アドレスを入力できません。
5 IP Address (IP アドレス)	現在接続されているプロジェクターに対して割り当てる IP アドレスを入力します。
6 Subnet Mask (サブネットマスク)	現在接続されているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
7 Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	現在接続されているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
8 DNS Server (DNS サーバ)	現在接続されているプロジェクターの DNS サーバー IP アドレスを入力します。
9 Send (送信)	このボタンをクリックして、プロジェクターへの変更を確定します。

ユーザーパスワード

コンピュータのオペレーションウィンドウを開くためにパスワードを要求するには、**Enabled (有効)** チェックボックスを選択します。

項目	説明
1 New Password (新規パスワード)	オペレーションウィンドウを開くパスワードを変更するときは、新規パスワードを入力します。(最大 26 文字の半角英数文字)
2 Confirm (確認)	新規パスワードに入力したのと同じパスワードを入力します。パスワードが同じではない場合、エラーが表示されます。
3 Send (送信)	このボタンをクリックして、ユーザーパスワードへの変更を確定します。

管理者パスワード

Tools (ツール) ウィンドウを開くためにパスワードを要求するには、**Enabled (有効)** チェックボックスを選択します。

	項目	説明
1	New Password (新規パスワード)	Tools (ツール) ウィンドウを開くパスワードを変更するときは、新規パスワードを入力します。 (名前には最大 26 文字までの半角英数文字を含めることができます。)
2	Confirm (確認)	新規パスワードに入力したのと同じパスワードを入力します。パスワードが同じではない場合、エラーが表示されます。
3	Send (送信)	このボタンをクリックして、管理者パスワードへの変更を確定します。

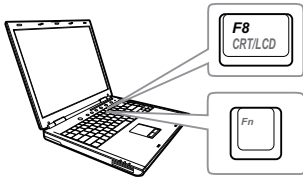
4

プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell へのお問い合わせはページ 148 をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない





解決方法

- 「入力選択」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 9 の「プロジェクタのセットアップ」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (ページ 136 の「ランプの交換」をご覧ください)。
- 詳細設定の投写機設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない



解決方法 (続き)

- 1 リモコンの自動調整ボタンを押します。
- 2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの使っていない部分を右クリックし、プロパティをクリックして、次に、設定タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく

アドバンスメニューの OSD **表示設定** でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る

アドバンスメニューの OSD **表示設定** で周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、**アドバンス** タブの OSD **画像設定** で信号の種類を **RGB** に設定してください。
 - **アドバンス** メニューの **投写機設定** の **テストパターン** を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (1.96 フィート [0.597 m] ~ 2.4 フィート [0.731 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD のアドバンスメニューの表示設定で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	<p>OSD でアドバンスの投写機設定を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 136 の「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合は、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと電源ライトがオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)

温度ライトがオレンジ色で点灯

解決方法 (続き)

プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。

温度ライトがオレンジ色で点滅

プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。

リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない

電池の残量が少なくなっています。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

DoUSB が表示されません

- Windows

Display over USB (DoUSB) は、自動的に実行されます。手動で USB ディスプレイを実行するには、マイコンピュータに移動し、「USB_Display.exe」を実行します。

- Mac

- CD-ROM の USB_DISPLAY に移動し、「MAC_USB_Display.pkg」を実行します。
- 画面の指示に従って、インストールを完了します。
- システムを再起動した後、コンピュータとプロジェクタに USB ケーブルを再接続します。



メモ: ドライバをインストールするには、管理者レベルのアクセス権が必要になります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。

問題 (続き)

IR ペンの位置補正

解決方法 (続き)

- 1 プロジェクターおよびコンピューターの出力解像度が 1280x800 であることを確認してください。
 - 2 コンピュータ上で「セカンドスクリーンのみ」を選択します。
-

ガイド信号

プロジェクトの状態	説明	コントロールボタン		インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)	
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	白	オフ	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 ☑️メモ:OSDメニューにアクセスしていません。	白	オフ	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色で点滅	オフ	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	白	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色	
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オレンジ色	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色で点滅	

ランプの交換

△ **注意:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 にある「安全上のご注意」をお読みください。

メッセージ「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」が画面上に表示されるときは、ランプを交換してください。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、Dell までお問い合わせください。詳しくは、ページ 148 の「Dell へのお問い合わせ」を参照してください。


△ **注意:** オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ **注意:** ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

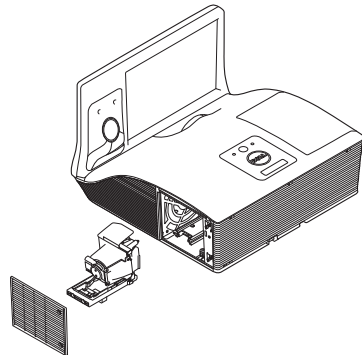
△ **注意:** 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意:** ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ:** Dell は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。



9 アドバンスメニューの OSD パワー設定のランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします (ページ 48 のアドバンスメニューのパワー設定を参照)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクトはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



注意：ランプの廃棄 (米国のみ)

(i) 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

よくある質問：

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適な状態で設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 コントロールパネル → インターネットオプション → 全般タブ → インターネット一時ファイル → 設定 → 選択ページへのすべての訪問者を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX:AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ / ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ / ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q: Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A: コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 保護	設定
McAfee Security Center	<ol style="list-style-type: none">1 McAfee Security Center を起動します (スタート > すべてのプログラム > McAfee > McAfee Security Center)。2 Personal firewall plus タブで、View the Internet Applications List リストをクリックします。3 リストから、Dell プロジェクターを探して選択します。4 その Permissions カラムを右クリックします。5 ポップアップメニューから Allow Full Access を選択します。
Norton AntiVirus	<ol style="list-style-type: none">1 Norton AntiVirus を開きます (スタート > すべてのプログラム > Norton AntiVirus > Norton AntiVirus)。2 Options メニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。3 Status ページで、Internet Worm Protection を選択します。4 プログラムのリストから Dell プロジェクターを探して選択します。5 その Internet Access カラムを右クリックします。6 ポップアップメニューから Permit All を選択します。7 OK をクリックします。

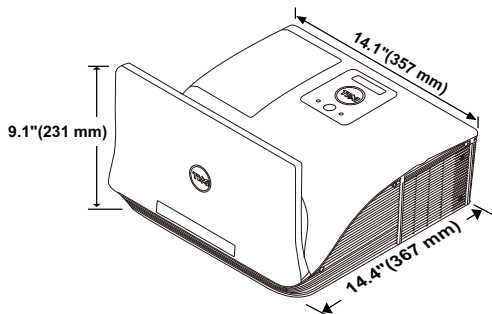
ファイアウォール 保護	設定
Sygate Personal Firewall	<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開き ます（スタート > すべてのプログラム > Sygate > Sygate Personal Firewall）。 2 実行中のアプリケーションリストから、Dell プ ロジェクターを探して右クリックします。 3 ポップアップメニューからAllowを選択します。
Windows ファイ アウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows ファイアウォールを開きます（ス タート > すべてのプログラム > コントロールパ ネル）。Windows ファイアウォールをダブルク リックします。 2 全般タブで、例外を認めないのチェックを外し ます。 3 例外タブで、プログラムの追加ボタンをクリッ クします。 4 プログラムのリストから Dell プロジェクターを 探して選択し、OK をクリックします。 5 OK をクリックして、例外設定を確認します。
Zone Alarm	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます （スタート > すべてのプログラム > Zone Labs > Zone Labs Center）。 2 プログラムコントロールページで、リストから Dell プロジェクターを探して選択します。 3 そのAccess-Trustedカラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューからAllowを選択します。 5 Access-Internet、Server-Trusted、および Server-Internet カラムで Allow を右クリッ クし、選択します。

5

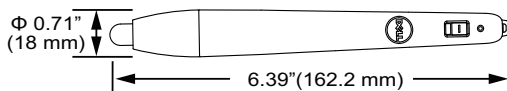
仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA-800 S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	3100 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	ネイティブ : 2200:1 標準 高コントラスト比モード : 8000:1 標準
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1280 x 800 (WXGA)
縦横比	16:10
内部フラッシュャー	2 GB メモリ (最大)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 X 1 X (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.6 有効焦点距離 = 654 mm ± 10 mm @ 87.2 画面サイズ 固定レンズ、デジタルズームのみ 投影比 = 0.35 ワイドおよび望遠 オフセット比 :125%±5%
投影画面サイズ	70 ~ 100 インチ (対角)
投影距離	1.7 ~ 2.49 フィート (0.517 ~ 0.759 m ± 0.01 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ : NTSC : M (3.58 MHz)、4.43 MHz PAL : B、D、G、H、I、M、N、60 SECAM : B、D、G、K、K1、L コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) : 1080i、720p、576i/p、480i/p HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p

電力供給	ユニバーサル AC 100 ~ 240 V 50 ~ 60 Hz (PFC 入力付)
消費電力	通常モード : 345 W \pm 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) エコモード : 285 W \pm 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) スタンバイモード : < 0.5 W S510/S510n ネットワークスタンバイ : < 9.6W
オーディオ ノイズレベル	スピーカー 2 つ、10 ワット RMS 通常モード : 36 dB(A) エコモード : 32 dB(A)
プロジェクタの重量	16.76 lbs (7.6 kg)
IR ペン重量 (S510 の場合のみ)	55.2 g (バッテリーを含む)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	14.1 x 9.1 x 14.4 インチ (357 x 231 x 367 mm)



IR ペン寸法 (D x Φ) (S510 の場合のみ)	6.39 x 0.71 (162.2 x 18 mm)
---------------------------------------	-----------------------------



環境条件

動作温度：5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)

湿度：80% 最大

保管温度：0 °C ~ 60 °C

(32 °F ~ 140 °F)

湿度：90% 最大

輸送温度：-20 °C ~ 60 °C

(-4 °F ~ 140 °F)

湿度：90% 最大

I/O コネクタ

電源：1つの AC 電源ソケット (3ピン - C14 インレット)

VGA 入力：2つの 15ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)。

VGA 出力：1つの 15ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。

コンポジットビデオ入力：1つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)

HDMI 入力：2つの HDMI コネクタ (HDMI 1.4 のサポート用)。HDCP 準拠 /MHL 付き。

アナログオーディオ入力：2つの 3.5 mm ステレオミニフォンジャック (青) と 1組の RCA コネクタ (赤 / 白)

可変オーディオ出力：1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。


USB (タイプ B) ポート：1つのミニ USB スレーブ (リモートのサポートおよびファームウェアアップグレード)。

RS232 ポート：RS232 通信用ミニ 9ピン D-sub 1 式。

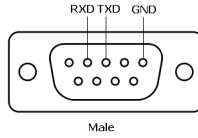
USB (タイプ A) ポート：マルチメディア再生 (ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア) 用の USB コネクタスロット 1 式。

USB (タイプ B) ポート：USB ディスプレーおよび USB メモリーストレージアクセス (内部メモリー) サポート用 USB コネクタ 1 式。

	RJ45 ポート : 1つの RJ45 コネクタ (ネットワークと LAN ディスプレイを経由したプロジェクタのコントロール用)。
マイク	1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (ピンク)。
ワイヤレス	ワイヤレス標準 : IEEE 802.11 a/b/g/n (1T2R) OS 環境 : Windows 8/7/Vista/XP/2000、MAC OS X サポート : プレゼンテーションスライドとプロジェクタ制御。 同時に 30 人までのユーザーに接続できます。 4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテーションスライドを投射します。 会議制御モード。 オーディオ投影をサポートします (ドライバのインストールが必要になる場合があります。dell.com/support からダウンロードしてください)。 MobiShow および WiFi-Doc 投影をサポートします。
ランプ	OSRAM 280 W ユーザー交換可能なランプ
ランプ寿命	通常モード : 最長 3000 時間 エコモード : 最長 4000 時間 ダイナミックエコサイクルモード : 最長 5000 時間

 **メモ :** プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ
OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。
- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)
[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]
- 例：電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)
--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01
- 制御コマンドのリスト
最新の RS232 コードについては、Dell サポートサイト (support.dell.com) をご覧ください。
最新の SNMP コマンドおよびリストについては、Dell サポートサイト (support.dell.com) をご覧ください。

互換モード (アナログ / デジタル)

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1024 x 768	119.989	97.551	115.500

6

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 www.dell.com/contactDell を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

Crestron へのお問い合わせ

Crestron では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、getroomview@crestron.com に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

テクニカルサポート

米国およびカナダでは

電話番号 :877-516-5394

電子メール :roomviewsupport@crestron.com

米国およびカナダ以外では

電話番号 :+1 201-367-1037

電子メール :roomviewsupport@crestron.com

7

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1平方メートルの画像を、9つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4×3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン / オフ 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン / オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。9フィート高、12フィート幅のスクリーンの対角は15フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の4:3の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルはTCP/IPアドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP® - Digital Light Processing™ — 小型操作ミラーを使用する Texas Instruments 社により開発された反射型ディスプレイ技術です。光がカラーフィルターを通してDLPミラーへ伝送されます。DLPミラーがRGB色を画面に投影される画像に配色します。DMDとも呼ばれます。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各DMDには数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS — ドメイン名システム — ドメイン名をIPアドレスに変換するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の1秒当たりの周期の繰返し速度です。単位はHz(ヘルツ)です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMIなどのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™社が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェイス) — HDMIは、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを1つのコネクタで伝送します。

Hz(ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレスLAN(WLAN)通信用の標準セット。802.11b/g/nは2.4GHz帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み(通常、上部が広く下部が細くなる現象)を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な(十分に明るい)画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525ライン・30フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB — Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

SECAM — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array — 1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA — Video Graphics Array — 640 x 480 ピクセルカウント。

WEP — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 148, 150

Dell へのお問い合わせ 5, 133,
136

お

オンスクリーンディスプレイ

アドバンス 37

オーディオ EQ 36

オーディオ音量 36

ビデオモード 35

ヘルプ 50

輝度 / 明度差 35

言語 50

自動調整 34

入力選択 32

入力選択の USB 34

入力選択の複数ディス
プレイ 33

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 148,
150

し

仕様

I/O コネクタ 144

IR ペン寸法 143

IR ペン重量 143

RS232 プロトコル 146

オーディオ 143

カラーホイール速度 142

コントラスト比 142

ノイズレベル 143

ビデオ互換性 142

プロジェクタの重量 143

ライトバルブ 142

画素数 142

環境条件 144

均質性 142

縦横比 142

消費電力 143

寸法 143

電力供給 143

投影レンズ 142

投影画面サイズ 142

投影距離 142

内部フラッシュ 142

表示可能な色 142

明るさ 142

せ

接続ポート

HDMI-B 入力コネクタ 17

MHL 機能をサポートするた
めの HDMI-A/MHL コネク
タ 17

RJ-45 コネクタ 17
RS232 コネクタ 17
USB ディスプレイ用 USB タイプ B コネクタ (DoUSB) 17
USB ビューア用 UDB タイプ A コネクタ 17
VGA-A 入力 (D-sub) コネクタ 17
VGA-B 入力 (D-sub) コネクタ 17
VGA 出力 (モニターループスルー) コネクタ 17
オーディオ -A 入力コネクタ 17
オーディオ -B 入力コネクタ 17
オーディオ右チャンネル入力コネクタ 17
オーディオ左チャンネル入力コネクタ 17
オーディオ出力コネクタ 17
コンジットビデオコネクタ 17
マイクコネクタ 17
ミニ USB (ミニタイプ B) 17
電源コードコネクタ 17

た

対話型ペン
バッテリー 52
パワーインジケータ 52
ペン先 52
リストストラップホルダ 52
電源スイッチ 52

て

電話番号 148

と

トラブルシューティング
Dell へのお問い合わせ 130

ふ

プロジェクトのフォーカス調整 9
フォーカスリング 9
プロジェクトの接続
HDMI ケーブル 19
MHL ケーブル 23
RJ45 ケーブル 29
RS232 ケーブル 21
RS232 (9 ピン D-sub メス - メスピン 2 ~ 3 スワップ) ケーブル 30
USB フラッシュディスク 28
USB-A - USB-B ケーブル 20
USB-A - ミニ USB-B ケーブル 18
VGA - VGA ケーブル 18, 26
オーディオケーブル 27
コンピュータへ 18
商用 RS232 コントロールボックス 30
電源コード 18, 19, 20, 21, 23, 26, 27, 28, 29, 30

ほ

本体 7

10 W スピーカー 7
IR レシーバ 7
カメラ 7
フォーカスリング 7
ランプ LED 7
ランプカバー 7
レンズ 7
温度 LED 7
電源ボタン 7

ら

ランプの交換 136

り

リモコン 12